

取扱説明書 LG Minibeam DLPプロジェクター

このたびはLGプロジェクターをお買い求め頂きまして、 誠にありがとうございます。 ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、 ご理解のうえ正しくお使いください。 お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

PW1500G PW1000G

www.lg.com/jp P/No: MFL69522701 (1609-REV02)

ライセンス

サポートされるライセンスは、モデルによって異なる場合があります。 ライ センスの詳細については、www.lg.com/jpでご確認いただけます。

DOLBY ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造 DIGITAL PLUS されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号 はドルビーラボラトリーズの商標です。

DivX Certified®デバイスは、DivX®の動画再生にお ける厳密なテストに合格した製品です。 購入したDivX映画を再生するには、まずお客様のデ

ける厳密なテストに合格した製品です。 購入したDivX映画を再生するには、まずお客様のデ バイスをvod.divx.comで登録してください。お客 様のデバイスにあるセットアップメニューのDivX VODセクションに、お客様の登録コードが記載され ています。 DivX Certified®は、プレミアムコンテンツを含む高 画質HD 1080pのDivX®の動画を再生。

DivX®、DivX Certified®、関連ロゴは、DivX, LLC の商標であり、使用には許可が必要です。 DivXの特許(7,295,673; 7,515,710; RE45,052; およびWebサイト(www.divx.com/patents)の掲載 項用)によって保護されています。



HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、米国およびその 他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの登録商標 または商標です。

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用 することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信 機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B



安全上のご注意

安全上の注意事項を正しく守り、事故が発生したり、プロジェクターを誤っ て使用したりすることがないようにしてください。

 下に説明するように、安全上のご注意には「注意」と「警告」の2種類が あります。

▲ 警告:指示に従わないと、死亡または重傷を負うおそれがあります。

✓ 注意:指示に従わないと、ケガまたは製品の損傷の原因となります。

取扱説明書をよく読み、必要な際に参照できるよう保管しておいてください。



この「安全上のご注意」をお読み ください。

この「安全上のご注意」を保管して ください。

すべての警告に従ってください。 この「安全上のご注意」に従って ください。

室内での設置場所について



- プロジェクターを屋外で使用したり、湿気や水にさらしたりしないでください。
 - 本製品は、防水仕様ではないので、火災や感電の原因になる場合があります。
- 直射日光の当たる場所、火気(ラ ジエーター、火、ストーブなど) の近くに置かないでください。
 - 火災の原因となるおそれがあります。
- エアロゾルなどの引火性溶剤をプロジェクターの近くで噴射しないでください。
 - 火災の原因となるおそれがあ ります。

- プロジェクターを小さなお子様 に触れさせないようにしてくだ さい。
 - 製品が落下して、死亡または 傷害を負う原因となるおそれ があります。
- 通気性が悪い場所(本棚やクロー ゼットなど)や、カーペット、ク ッションの上には設置しないで ください。
 - 通気性が不十分な場合、内部 温度の上昇により発火するお それがあります。
- 加湿器やキッチンカウンターな ど、蒸気、油、油煙の発生源とな る物の近くに製品を置かないで ください。
 - 火災、感電、腐食の原因となるおそれがあります。
- 油や油煙の発生源の近くの壁また は天井には本製品を取り付けない でください。
 - 製品が破損したり落ちたりして、重大なケガの原因となるおそれがあります。
- ほこりの多い場所に置かないでください。
 - 火災の原因となるおそれがあります。
- 製品がぬれるような湿度の高い 場所(浴室など)では使用しないで ください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- テーブルクロスやカーテンなどに よって排気口が塞がれないように してください。
 - 通気性が不十分な場合、内部 温度の上昇により発火するお それがあります。

- 十分な通気性を確保するため、プロジェクターの周りは周囲 30cm以上の空間を空けて設置してください。
 - これにより、内部温度の上昇 による発火を防ぎます。

▲ 注意

- テーブルや棚にプロジェクターを 配置するときは、プロジェクター を端に置かないでください。
 - バランスがくずれてプロジェ クターが落下し、ケガや製品 の破損の原因となるおそれが あります。 必ずプロジェクタ ーに適したプロジェクターキ ャビネットまたはスタンドを 使用してください。
- プロジェクターを移動するときには、電源を切って、電源プラグと コードを取り外してください。
 - 電源コードが破損し、火災や 感電の原因となる場合があり ます。
- 不安定な棚や斜面など、不安定で 振動する面にプロジェクターを置 かないでください。
 - プロジェクターが落下してケ ガの原因となることがあり ます。
- プロジェクターに外部デバイスを 接続する際には、プロジェクター がひっくり返らないように注意し てください。
 - ケガやプロジェクターの損 傷の原因になる可能性があり ます。

電源



- 主電源からのデバイスの取り外し
 電源プラグは電源を切断する装置です。緊急時に備える装置です。緊急時に備えて、電源プラグは簡単に手が届く状態にしておく必要があります。
- アース線を接続してください (アースされないデバイスを除き ます)。
 - アース線を接続し、感電を防 いでください。
 装置を設置できない場合は、
 専門の電気技師に別途ブレー カーの取り付けを依頼してく ださい。
 電話線、避雷針、ガス管に接 続することでプロジェクター を接地しようとしないでくだ
- さい。 • 電源プラグはコンセントに完全に
 - 差し込んでください。
 完全に差し込まないと、火災の原因となることがあります。
- 電源コードに重いものを乗せない でください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。

- 濡れた手では電源プラグに触れないでください。
 - 感電の原因になるおそれがあ ります。
- タコ足配線をしないでください。
 タコ足配線をすると、コンセントが加熱し、火災の原因になるおそれがあります。
- ACアダプター、電源プラグ、使用中のコンセントがほこりや異物などで汚れないように注意してください。
 - 火災の原因となるおそれがあります。
- プロジェクターまたはACアダプ ターから煙が出たり、異臭がし たりする場合は、直ちに製品の使 用を停止してください。コンセ ントから電源コードを抜き、カ スタマーセンターにお問い合わせ ください。
 - 火災の原因となるおそれがあります。
- 主電源をオフにするには、電源プラグを取り外します。電源プラグは、手の届く場所に配置する必要があります。

▲ 注意

- ACアダプターまたは電源コード を抜くときには常にプラグを持っ てください。
 - コードが損傷すると、火災や 製品破損の原因となるおそれ があります。
- ACアダプターの電源コードを曲 げたままにしないでください。
 - 電源コードが長期間過度に曲がったままになっていると、 コードの内部が破損することがあります。火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードとブラグが損傷していないこと、電源コードとプラグを改造したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、はさんだり、加熱したりしていないことを確認してください。コンセントがゆるい場合は、本製品を使用しないでください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードを加熱する機器から離してください。
 - コードのおおいが溶けて、火 災や感電の原因となるおそれ があります。
- 誰も電源コードでつまずいたり電 源コードを踏みつけたりしない場 所にプロジェクターを配置し、電 源コードとプラグの損傷を防いで ください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。

 電源プラグをコンセントから抜き 差ししてプロジェクターの電源を オンオフしないでください(電源 プラグをスイッチのように使用し ないでください)。

感電や製品の損傷の原因になることがあります。

- 電源プラグがコンセントに差し込まれているときに、反対側に導体を差し込まないでください。また、電源プラグをコンセントから抜いた直後に電源プラグに触れないでください。
 - 感電の原因になるおそれがあります。
- 必ずLG Electronicsが提供した 電源コードを使用してください。
 他の電源コードを使用しないで ください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- ACアダプター、電源コード、またはプロジェクターの内部に水または異物が入った場合は、電源ボタンを押してプロジェクターの電源をオフにしてください。すべてのケーブルを取り外し、カスタマーセンターにお問い合わせください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。

- ACアダプターの表面は熱くなります。ACアダプターは、お子様の手が届かない場所に置き、
 使用中に触らないようにしてください。
- 電源装置(ACアダプター、電源 コードなど)を分解しないでくだ さい。
 - 電源コードが破損し、火災や
 感電の原因となるおそれがあります。
- ACアダプターと電源コードをしっかりと接続します。
 - そうしないと、製品の障害や 火災の原因になるおそれがあ ります。
- 破損を防ぐために、電源コードや ACアダプターの上に重いものを 置いたり圧力をかけたりしないで ください。
 - 火災が発生したり、製品が損 傷することがあります。
- ACアダブターは、必ずLG Electronics, Inc.が提供、もし くは認定したものを使用してく ださい。
 - 他のACアダプターを接続する と、画面がちらつくことがあります。

使用時の注意事項

▲ 警告

- 液体を含むもの(花瓶、植木鉢、 カップ、化粧品、薬品、装飾品、
 ろうそくなど)を、プロジェクターの上に置かないでください。
 こぼすなどして、液体がかかると、火災、感電、ケガの原因となるおそれがあります。
- 強い衝撃を与えたりキャビネット が損傷した場合は、電源をオフに して電源コードをコンセントから 引き抜き、弊社カスタマーセンタ ーにご相談ください。
 - 感電の原因になるおそれがあります。
- 金属製のもの(硬貨、ヘアピン、
 金属片など)や可燃性のもの(紙や
 マッチなど)をプロジェクターに
 差し込まないでください。
 - 感電や火災の原因となるおそれがあります。
- リモコンの古い電池を新しい電池 と交換するとき、お子様が電池を 誤飲しないように注意してください。
 電池はお子様の手の届かない場所に置いてください。
 - お子様が電池を飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。

- 本製品を分解、改造しないでく ださい。
 - 感電のおそれがあります。また、分解、改造による故障や ケガに対しては、弊社は一切の責任を負いません。
- 製品の使用中にレンズを直接見ないでください。
 - 明るい光によって目を痛める ことがあります。
- ランプがオンになっているとき、 またはオフにした直後は、非常に 高温になっているため排気ロやラ ンプに触れないでください。
- プロジェクターがある部屋でガス 漏れが発生した場合は、プロジェ クターまたは電源コンセントに触 れないでください。窓を開けて 換気してください。
 - 火花が火災や火傷の原因となるおそれがあります。
- ・ 雷雨の発生中は、コンセントから 電源コードを抜いてください。
 - 感電またはプロジェクターの 破損の原因になるおそれがあ ります。
- 強い磁場を生じさせる電子デバイ スの近くでプロジェクターを使用 しないでください。
- プロジェクターの梱包に使用されているプラスチックフィルムは、お子様の手の届かない場所においてください。
 - 安全に扱わないと、窒息の原
 因となるおそれがあります。
- プロジェクターが動作していると きには、プロジェクターの上に長 時間手を置かないでください。

- プロジェクターにゲームコンソー ルを接続してゲームをプレイする ときには、画面の対角線の長さの 4倍以上の距離を維持することを お勧めします。
 - 接続ケーブルが十分に長いことを確認してください。長さが短いと、製品が落下して、 傷害を負ったり、製品が損傷することがあります。
- プロジェクターまたはバッテリー が内蔵されたリモコンを高温の環 境に置かないでください。
 - 火災の原因となるおそれがあ ります。
- 3Dを視聴しないときには、3Dメ ガネを使用しないでください。

▲ 注意

- プロジェクターに重いものをのせ ないでください。
 - プロジェクターが損傷するお それがあります。
- 搬送中にレンズに衝撃を与えない ように注意してください。
- レンズに触れないでください。
 レンズが損傷する可能性があります。
- ナイフやハンマーなどの鋭利な工 具をプロジェクターに使用しない でください。製品が損傷すること があります。
- ・ 画面に映像が映らない場合や音
 が聞こえない場合は、プロジェク
 ターの使用を停止してください。
 プロジェクターの電源を切ってコ
 ンセントから電源コードを抜き、
 弊社カスタマーセンターにご相談
 ください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- プロジェクターの上にものを落としたり、プロジェクターに何かを ぶつけたりしないでください。
 - 故障やケガの原因となるおそれがあります。
- ・ 画面の対角線の長さの5~7倍以 上の距離で視聴することをお勧 めします。
 - - 至近距離で長時間画面を見続けると、眼精疲労、視力の低下のおそれがあります。

- プロジェクターが発する光線の 至近距離にものを置かないでく ださい。
 - プロジェクターの光線に長時間さらされると火災の原因となるおそれがあります。さらに、反射熱によってレンズが過熱して損傷するおそれがあります。AV機能を無効にして、映写を一時的に停止するか電源を切ってください。
- 音量を上げたままプロジェクター を起動しないでください。
 - 大音量で聞くと聴力の低下を 起こすおそれがあります。
- プロジェクターの近くで高電圧の 電子機器を使用しないでください (電気虫取り器など)。製品が誤作 動を起こすことがあります。

清掃



- 清掃時には、プロジェクターに水を吹き付けないでください。プロジェクターに液体が入らないようにしてください。
 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- プロジェクターから煙が出たり、 異臭がしたりするなどの異常が発生した場合、またはプロジェクター内に異物が入った場合は、プロジェクターの電源をオフにし、 電源プラグをコンセントから抜い て、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- レンズのほこりや汚れを除去する には、エアスプレーや、レンズ清 掃用化学薬品かアルコールを含ま せたやわらかい布か綿棒を使用し てください。

▲ 注意

- 製品内部の清掃のため、年に一度 弊社カスタマーセンターにご相談 ください。
 - プロジェクターを長期間清掃しないと、ほこりが内部にたまり、火災やプロジェクターの損傷が発生するおそれがあります。
- 筐体などのプラスチック部分を清 掃するときは、まずコンセントか ら電源プラグを抜いて、やわらか い布で拭いてください。液体ス プレーを使用したり、ぬれた布で 拭いたりしないでください。ガ ラスクリーナー、自動車用または 工業用のポリッシュ、研磨剤、ワ ックス、ベンゼン、アルコール などを決して使用しないでくださ い。プロジェクターが損傷する可 能性があります。
 - 火災、感電、製品の破損(変色 や変形、腐食)が生じるおそれ があります。
- 製品を清掃する前に、電源プラ グをコンセントから抜いてくだ さい。

- 感電するおそれがあります。

その他



- 一部のユーザーは、ビデオゲームで点滅する光や特定のパターンを視聴したときに発作その他の異常な症状を起こす可能性があります。
- 外出するときは、プロジェクター を動物が届かない場所に置き、電 源プラグをコンセントから抜いて ください。
 - 破損した電源コードを使用すると、ショートや火災の原因となるおそれがあります。
- 精密な電子機器または弱い無線 信号を出すデバイスの近くでプロジェクターを使用しないでく ださい。
 - 製品の動作に影響し、異常が 発生するおそれがあります。
- 専門の技術者以外、プロジェクターの分解や改造を行わないでください。診断、調整、修理が必要な場合は、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 適切な通気のため、通気口をふ さがないでください。内部の過 熱により火傷を負う可能性があ ります。
- ランプの破損を避けるために、電源を切った、内部の温度が下がるまで3分間以上は電源コードを抜かないでください。

- レンズに触れないでください。
 やけどやレンズの損傷の原因となるおそれがあります。使用中や使用直後は、レンズや装置が熱くなることがあります。装置は、
 注意して扱い、適切に冷却してください。
- アース付きコンセントにのみ接続 してください (アースされないデ バイスを除きます)。
- 排気口にものを入れたり覆ったり しないでください。
 - 火災や感電の原因となるおそ れがあります。
- 最適に使用するために、すべての メンテナンスガイドラインに従い、点検整備は、弊社カスタマー センターにご相談ください。
- ランプには水銀が含まれています。地域や政府の法律に従って処分する必要があります(LEDモデルは該当しません)。
- バッテリーはお子様の手の届かな い場所で保管してください。
 - ケガや製品の損傷の原因にな る可能性があります。

▲ 注意

- プロジェクターを長時間屋外で使用または保管しないでください。
- 新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。また、異なる種類の電池を同時に使用しないでください。
 - バッテリーの破裂や液漏れが 破損やケガの原因となるおそ れがあります。
- 製品を長期間使用しないときは、 コンセントから電源プラグを抜い てください。
 - ほこりがたまると、過熱、発 火、絶縁不良のために火災が 発生したり感電したりするお それがあります。
- 電池は指定されたタイプのものを 使用してください。
 - バッテリーの破裂や液漏れが 破損やケガの原因となるおそ れがあります。
- バッテリーを交換するときには 同じ種類のバッテリーを使用し てください。(バッテリーの種 類:CR2032/3V)
 - バッテリーの接触不良の場合、バッテリーが短時間で消耗したり、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- 使用済みバッテリーは適切に破棄 してください。
 - 爆発や火災の原因となるおそれがあります。
- バッテリーを投げたり分解したりしないでください。
 - バッテリーの損傷のため火災 や爆発が発生するおそれがあ ります。

- バッテリーは、鍵やクリップなどの金属類の近くに保管しないでください。
 - 過度な電流により、温度が急激に上昇し、火災が発生したり火傷を負う可能性があります。
- バッテリーは、ヒーターなどの 熱源の近くに保管しないでくだ さい。
 - 火災が発生したり、電池が 爆発、損傷することがあり ます。
- バッテリーを温度が60℃以上に なる場所、または湿度が高い場所 に保管しないでください。
 - 爆発や火災の原因となるおそれがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられていることを確認してください。
 爆発や火災の原因となるおそれがあります。
- バッテリーを正しく交換しない と、火災の原因となるおそれが あります。
- バッテリー:アクセサリ(バッテ リーなど)は、お子様の手の届か ない安全な場所に保管してくだ さい。

LEDリスクグループ2 (IEC62471)

注意:本製品から危険な光学的放 射線が放出される可能性がありま す。動作中のランプを見つめない でください。目を傷めるおそれが あります。

目次

ライセンス	2
安全上のご注意	3
準備	15
付属品	15
付属品以外に必要なもの	17
各部の名称と位置	18
ジョイスティックボタンの使用	ŧ
 - 基本機能 - メニューの調節 LED電源インジケーター 設置 - 設置に関するご注意 - 画面サイズに対する映写話 - 三脚を使用してプロジェイーを設置する - ケンジントン(Kensingtor セキュリティシステム 	20 20 21 22 22 定 23 25 25 25 20 26
リモコン	27
プロジェクターを使用する	, 30
プロジェクターの視聴 - プロジェクターの電源を にする - 映像の焦点と位置を調整す	30 オン 30 する 31

- プロジェクターでの視聴 31

追加オプション	32
– アスペクト比(縦横比)を調	围整
する	32
- 台形補正機能の使用	33
– 入力デバイスを変更する	34
- ブランク機能	36
クイックメニューを使用する	37
エンターテイメント	38
SCREEN SHAREの使用	38
プロジェクターのBluetooth	を
設定する	39
– Bluetoothデバイスの検索	索
と接続	40
– 登録済みのデバイスリス	-
のBluetoothデバイスの	妾
続、切断、または削除	42
- AVシンクの調整	43
マイメディア	44
使用する前に	44
– USBデバイスの接続	44
– USBデバイスの切断	44
マイメディアを使用するには	46
– ビデオを再生する	50
– 写真を表示する	56
– 音楽を再生する	60
– ファイルを表示する	64

14 目次

3D機能	68
3D視聴時の注意事項	68
3D映像視聴の要件	72
- DLP-LINK(DLP対応)夕	イブ
の3Dメガネの使用方法	73
3D映像を表示するには	73
- サポートされている3D=	E-
۲, ۲	74
設定のカスタマイズ	76
設定	76
映像設定	77
オーディオ設定	84
タイマー設定	86
ワイヤレス設定	87
[設定1]の設定	89
[設定2]の設定	90
デバイスを接続する	92
HDレシーバー、DVD、 VC	Rプ
レーヤー、外部デバイスへの	の接
続	93
- HDMI接続	93
- HDMI-DVI接続	93
- AV入力への接続	94
- コンポーネント接続	94
PCへの接続	95
- HDMI接続	95
- HDMI-DVI接続	95
- RGB接続	96
ノートPCの接続	97
- HDMI接続	97
ヘッドホンの接続	98

携帯電話のミラーリング機能 使用 - MHL/スリムポートの接	Eの 99 続
	99
メンテナンス	100
お手入れ - レンズのお手入れ - 筐体のお手入れ	100 100 100
トラブルシューティング	101
 全般 一 画質 サウンド PC接続の問題 マイメディアでのムーと 再生に関する問題 	101 101 102 102 ご一の 103
仕様	104
Wireless モジュール仕様	106
キーコード	111
外部制御機器のセットア	ップ 113
通信パラメータ	114
コマンドリファレンスリスト	~
	115
送受信プロトコル	116

準備

画像は実際の製品とは若干異なる場合があります。

付属品

箱を開けた際は、付属品をご確認ください。万が一付属品が不足している場合は、お求めの販売店にお問い合わせください。 付属品は事前の通知なしに変更されることがあります。



HDMIケーブルの接続または、USBケーブル、USBフラッシュドライブの接続の際は、幅が18mm以下で高さが10mm以下の製品を使用してください。USBケーブルまたはUSBフラッシュドライブがプロジェクターのUSB端子に適合しない場合、USB 2.0対応の延長ケーブルを使用してください。



- HDMIロゴ付きの認証済みケーブルを使用してください。
- 認証済みのHDMIケーブルではない場合、画面が表示されなかったり、接続エラーが起きることがあります。
 (推奨のHDMIケーブルのタイプ)
 - 高速HDMI®/™ケーブル
 - イーサネット対応高速HDMI®/™ケーブル

付属品以外に必要なもの

プロジェクターを使用する際、使用する機能や環境により、以下のアクセサ リー部品が必要になることがあります。アクセサリー部品の購入は、製品を お求めいただいた販売店または、電気店、オンラインショッピングサイト等 にお問い合わせください。



各部の名称と位置

本製品は高精度な技術で作られており、画面の一部にごく小さな黒い点や 赤、青、緑などの点が見えることがあります。これは製品の特性であり、製 品不良、故障ではありません。



- 1) 通気口付近は温度が上昇するため、通気口付近にものを置いたり、通気口 から出る風を浴びないようにしてください。
- プロジェクターを使用中に、レンズに触れないでください。レンズが損傷 する可能性があります。





- RS-232C IN (RS-232C端子)
- 2 ↔ (USB端子)
- HDTMI (HDMI/MHL入力端子)
- ④ RGB IN (D-Sub15ピンアナログ入力端子)
- 5 Ω(ヘッドホン端子)
- 6 AV IN (AV入力端子)
- ⑦ DC IN (電源コネクタ)

ジョイスティックボタンの使用

プロジェクターを操作するには、ボタンを押すか、ジョイスティックを上下 左右に動かします。

基本機能

<	電源オン	プロジェクターがオフになっていると きに、ジョイスティックボタンを押し ます。
<	電源オフ	プロジェクターがオンになっていると きに、ジョイスティックボタンを長押 し(数秒間押す)すると電源がオフになり ます。(画面上にメニューが表示されて いるときは、長押しするとメニューを 終了します。)
	音量コント ロール	ジョイスティックボタンを、左右に動 かすと音量の調節ができます。
***	上下左右	メニューが表示されているときに前後 左右に動かすと、メニューカーソルが 移動します。



ジョイスティックボタンを前後左右に動かすときに、ボタンが押された状態で操作すると、メニュー操作、音量調節ができないことがあります。

メニューの調節

プロジェクターがオンになっているときに、ジョイスティックのボタンを1 回押します。

	Ċ	電源をオフに します	電源をオフにします。
\wedge		入力リスト	入力元を変更します。
◇ (閉じる) ● ×	×	閉じる	オンスクリーンディスプレイ をクリアし、プロジェクター の表示に戻ります。
	\$	Settings	メインメニューを表示しま す。

LED電源インジケーター



LED電源インジケーター			
赤	電源スタンバイ状態		
オフ	電源オンで作動中		

設置

設置に関するご注意

- プロジェクターは通気の良い場所 に配置してください。
 - 内部の過熱を防ぐため、通気の 良い場所にプロジェクターを設 置してください。 プロジェクターの周囲にものを 置かないでください。通気が妨 害されることがあります。通 気が妨害されると、プロジェク ターの内部温度が上昇します。



じゅうたんやラグの上にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターを高さのある安定した面の上で使用してください。



紙屑などの異物がプロジェクタ
 ーに入らないように注意してく
 ださい。



 十分な通気性を確保するため、 プロジェクターの周りは周囲 30cm以上の空間を空けて設 置してください。



- 高温、低温、または高湿度の場所 にプロジェクターを配置しないで ください。
- ほこりの多い場所にプロジェクターを配置しないでください。
 - 火災の原因となるおそれがあります。
- 本製品を分解、改造しないでください。感電のおそれがあります。
 また、分解、改造による故障やケガに対しては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は高精度な技術で作られており、画面の一部にごく小さな黒い点や赤、青、緑などの点が見えることがあります。これは製品の特性であり、製品不良、故障ではありません。
- 電子安定器付きの照明器具や3波 長形蛍光灯が設置されている場所 では、リモコンが機能しないこと があります。リモコンの正常な動 作のため、照明器具を、国際標準 を満たした照明器具の元で使用し てください。
- 天井に取り付ける場合は、
 M4 x 8mmねじを使って天井用の
 取付け金具(別売)をプロジェクターに取り付けます。

画面サイズに対する映写距離

- プロジェクターは安定した水平な場所に設置し、接続機器の近くに設置 してください。
- 2 プロジェクターは投影面から適切な距離に設置してください。プロジェクターと投影面の距離によって、投影される映像のサイズが決まります。
- 3 レンズが投影面に対して水平になるようにプロジェクターを配置します。プロジェクターが水平になっていない場合、画面に映像が歪みます。 歪みを修正するには、台形補正機能を使用します。 (33ページを参照してください。)
- 4 プロジェクターおよび接続機器の電源コードをコンセントに接続します。



上向き映写の比率:100%

24 準備

16:10 縦横比			
画面サイズ (mm)	画面の幅(Y) (mm)	画面の高さ(X) (mm)	映写距離(D) (mm)
635	539	337	748
762	646	404	902
889	754	471	1056
1016	862	538	1210
1143	969	606	1366
1270	1077	673	1520
1397	1185	741	1674
1524	1292	808	1828
1651	1400	875	1983
1778	1508	943	2137
1905	1615	1010	2291
2032	1723	1077	2445
2159	1831	1145	2601
2286	1938	1212	2755
2413	2046	1279	2909
2540	2154	1347	3063

三脚を使用してプロジェクターを設置する

- 本製品は以下のイラストのように、カメラの三脚を使用して設置できます。
- 三脚を固定する場合は、標準サイズの長さ4.5mm以下の締め付けボルトの 使用をお勧めします。 締め付けボルトの最大の長さ5.5mmです。(5.5mm より長いボルトを使用すると、プロジェクターが損傷するおそれがありま す。)

プロジェクターの底面



このねじ穴に三脚のボ ルトでプロジェクター を固定します。





- 三脚を使用しているときは、三脚に触れないようにに気をつけてください。三脚が倒れてプロジェクターが損傷するおそれがあります。
- 三脚は安定した場所に設置してください。
- 必ず耐荷重が3kg以上の三脚を使用してください。
- 三脚を使用して安全に使用するには、三脚の脚をできる限り広げて、安定させて設置し、プロジェクターはしっかり固定します。
- 三脚は別売です。

ケンジントン(Kensington)セキュリティシステム

- 本製品は、盗難防止用のケンジントンセキュリティ標準コネクタが付いています。ケンジントンセキュリティシステムのケーブルを、下記のように接続してください。
- ケンジントンセキュリティシステムの詳細な取り付けおよび使用手順については、ケンジントンセキュリティシステムセットに付属の取扱説明書を参照してください。
- ケンジントンセキュリティシステムは、別売です。





リモコン

リモコンの背面にあるバッテリーカバーを開き、 ⊕⊖極を正しい向きにして指定されたバッテリーを 挿入します。新しいバッテリーを使用します。







- 🍼 ヒント

- リモコンの最適な作動域は、リモコンのIRレ シーバーに対して6m以内かつ左右それぞれ 30度以内です。
- ケーブルが背面の端子に接続されている場合、リモコンの最適な作動域は、リモコンの IRレシーバーに対して3m以内かつ左右それ ぞれ30度以内です。
- スムーズに操作するために、IRレシーバーを ふさがないようにしてください。



 リモコンをバッグに入れて持ち運ぶときは、バッグに入れたプロジェ クター、ケーブル、マニュアル、その他付属品等でリモコンのボタン が押されないようにしてください。ボタンが押され続けることで、電 池寿命が大幅に短くなることがあります。

プロジェクターを使用する

プロジェクターの視聴

プロジェクターの電源をオンにする

この取扱説明書に記載されているメニュー画面は、製品の操作方法をユーザ ーが理解できるようにするための例であり、実際の画面とは異なる場合があ ります。

- 1 電源コードを正しく接続します。
- 2 しばらくしたら、リモコンまたはジョイスティックボタンのPOWERボタンを押します。 画面のピントを調節します。(31ページを参照してください。)
- 3 [言語の選択]画面で、言語を選択します。
- 4 [モード設定]画面で、[標準]を選択します。



- * [ストアモード]は、お店でこの製品のデモンストレーションを行う場合に 最適化されています。 しばらくすると、設置モードは自動的にリセット されます。 この製品を家庭で使用するには、[標準]を選択します。
- 5 リモコンのINPUTボタンを使用して、入力信号を選択します。

映像の焦点と位置を調整する

映像が画面に表示されたら、フォーカス(焦点)が合っていて画面にぴったり 合っているか確認してください。

フォーカスリングを左右に回して映像のフォーカスを調整します。 フォーカスを調整しているときは製品が動かないようにしてください。



プロジェクターでの視聴

- スタンバイモードの状態で、POWERボタンを押してプロジェクターの 電源をオンにします。
- 2 INPUTボタンを押して、使用する入力信号を選択します。
- 3 映像表示中に、次のボタンでプロジェクターを操作ます。

ボタン	説明
VOLUME +, -	音量を調節します。
MUTE A	サウンドをミュートにします。
Q.MENU	クイックメニューを表示します。
RATIO	映像のアスペクト比(縦横比)を変更します。
KEY.S ▲, ▼	台形に表示されている映像を調整します。

4 プロジェクターの電源をオフにするには、POWERボタンを押します。

追加オプション

🖉 ヒント-

アスペクト比(縦横比)を調整する

プロジェクターを使用しているときにRATIOを押して、各種サイズで表示されるように映像のサイズを変更します。

• 使用可能なアスペクト比は入力信号によって異なります。

• Q.MENUまたはSETTINGSボタンを使用することもできます。

ノニュー	説明
16:9	16:9アスペクト比に映像のサイズを変更します。
フル	アスペクト比に関係なく、フル画面モードに変わります。
オート	映像の端の部分をはみ出すことなく、ビデオの映像をオリ ジナルサイズで表示します。 • [オート]を選択した場合、画面の周囲にノイズが表示され ることがあります。
オリジナル	オリジナルの映像と同じアスペクト比で映像を表示しま す。
4:3	4:3に映像のサイズを変更します。
ズーム	スクリーンの幅に合わせて映像のサイズを変更します。 映 像の上下端が切り取られることがあります。 ・ 映像をズームインする場合は→、ズームアウトする場合 は◆ボタンを押します。 ・ 上下の位置を調整する場合は、◆◆ボタンを押します。
シネマズー ム1	 映像をシネマスコーブのアスペクト比である2.35:1で表示します。 1~16倍で表示できます。 ・映像をズームインする場合は→、ズームアウトする場合は<ボタンを押します。 ・映像を移動するには、▲▼ボタンを押します。 ・映像を拡大、縮小すると、映像が歪むことがあります。

台形補正機能の使用

プロジェクターと投影面が平行でない場合、画面の映像が台形になることを 防止するため、映像の上端と下端の幅を台形補正で調整します。

[台形補正]機能では画質が低下することがあるので、プロジェクターを最適 な角度で設置できないときにこの機能を使用してください。



- 1 KEY.S ▲、KEY.S ▼ ボタンを押して映像を調整します。
 - [台形補正]は-40~40で調整できます。
- 2 設定が完了したら、OKボタンを押します。

34 プロジェクターを使用する

入力デバイスを変更する

外部入力を選択するには

外部入力を選択します。

実際の製品の画面は、このメニューの画像とは異なることがあります。

- リモコンのINPUTボタンを押して[入力リスト]を表示します。

 接続されている入力端子がアクティブ状態で表示されます。ただし、 ビデオ/コンポーネント/SCREEN SHARE入力は常に有効になります。
- 機器を入力端子に接続し、リモコンのINPUTボタンで入力信号を選択します。



入力ラベルの選択

入力端子に接続されている機器名の表示を変更することができます。

入力ラベル				
???? ビデオ	•		►	
₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	•		►	
RGB-PC			►	
HDMI	۲		►	
閉じる				

1 リモコンのINPUTボタンを押して入力選択画面を表示します。

2 リモコンの下にある赤色のボタンを押します。

3 人、 Vボタンで、入力端子を選択します。

4 <、>ボタンで、入力ラベルを選択します。

ブランク機能

ブランク機能の使用

この機能は、ミーティングやトレーニング中に注意を引き付ける必要がある 場合に効果があります。

- 1 BLANKボタンを押します。画面全体が背景色になります。背景色を変 更することができます。変更方法については、ブランクの選択(下記)を参 照してください。
- 2 任意のボタンを押して、ブランク機能をオフにします。画面を一時的に 非表示にするには、リモコンのBLANKボタンを押します。プロジェク ターの動作中にレンズをふさがないでください。過熱および変形したり、火災の原因になる場合があります。

ブランクの選択

- 1 SETTINGSボタンを押します。
- 2 ∧、 ∨、 く、 >ボタンで、[設定2]を選択し、 OKボタンを押します。
- 3 ∧、 ∨ボタンを押して[ブランク]を選択し、OKボタンを押します。
- 4 ∧、√ボタンで、設定する項目にカーソルを移動し、OKボタンを押します。
クイックメニューを使用する

使用頻度の高いメニューを簡単に開くことが出来ます。

1 Q.MENUボタンを押します。

2 <、>ボタンで、メニューを選択し、OKボタンを押します。

-ב=א	説明
アスペクト比	映像の縦横比を変更します。
投写位置	投写される映像の上下または左右が逆になります。
投映モード	投映モードを変更します。
サウンド モード	サウンドモードを設定します。
オフタイマー	指定した時刻にプロジェクターの電源がオフになるよう に設定します。
クリアボイスII	プロジェクターからの音声がクリアになります。
エコモード	画面のピークの明るさを調節して消費電力を削減します。
USBデバイス	接続されているUSBデバイスを安全な方法で取り外すことができます。 (このメニューは、USBデバイスが接続されている場合のみ表示されます)。

3 ∧、 √ボタンで、設定したい項目にカーソルを移動し、OKボタンを押します。

エンターテイメント

SCREEN SHAREの使用

- 1 プロジェクターの外部入力をSCREEN SHAREに設定します。
- 2 接続するデバイスで関連するSCREEN SHARE機能を有効にします。
- 3 接続するデバイスで検索リストからプロジェクターを接続します。(プロ ジェクターをラップトップに接続するときは、ディスプレイに表示され るPINコードを入力します。PINを要求するメッセージは最初に接続した ときにのみ表示されます)。
- 4 目的のデバイスが要求を受け入れると、SCREEN SHAREが開始されます。



- Windows 7/8/8.1は、SCREEN SHAREと互換性があります。ただし、他のバージョンのWindowsおよびいくつかの他のオペレーティングシステムはSCREEN SHAREと互換性がない場合があります。
- Cream Sandwich、Jellybean、KitKat、LollypopパージョンのLG のAndroidデバイスは、互換性があることが保証されています。
- SCREEN SHAREを介して接続するときには、デバイスをプロジェク ターの近くに置いてください。
- 応答速度および画像の品質はユーザーの使用環境に応じて異なります。
- 接続するデバイスの詳細については、取扱説明書を参照してください。
- 特定のWindows 8.1ラップトップでは、ワイヤレス接続中にデバイ ス情報を初期化するときに再接続が困難になることがあります。この 場合、登録済みのデバイスを削除してから再接続することをお勧めし ます。

プロジェクターのBluetoothを設定する

Bluetoothで接続してBluetoothオーディオデバイスから音声を出力できる ようにします。

 リモコンのSETTINGSボタンを押し、[ワイヤレス]メニューの [Bluetooth]を[オン]に設定します。



Bluetoothデバイスの検索と接続

SETTINGSボタンを押してメインメニューを開き、 [ワイヤレス] → [デバイ スの検索]に移動し、近くにあるBluetoothオーディオデバイスを検索して、 検出されたデバイスをプロジェクターに接続します。

(デバイス名が20文字より長い場合は、20文字まで表示されます)。

- 1 Bluetoothデバイスをペアリングモードに設定し、[デバイスの検索]を 選択します。
 - [検索停止]を選択して、それまでに検出されたデバイスを表示します。
 - デバイスが検出されていない場合は、デバイスの電源がオンになっていてペアリングモードになっていることを確認します。
 - デバイスの検索にかかる時間は、信号の強さとデバイスの数によって 異なります。



* メニューのイラストは製品の実際の画面と異なる場合があります。 (モデルごとに異なります)

- 2 検索が完了したら、Bluetoothデバイスを選択して接続できます。
 - [検索停止]を選択すると検索を中止できます。
 - デバイスへの接続にかかる時間は、信号の強さとデバイスの数によって異なります。

●デバイスの検	索	●デバイスの検索	
リスト	検索中… 🎧	リスト	検羽
Please wait.		HBS-700	
		デバイスに接続するには、[OK](@)を押し	,7<
検索停止	閉じる	Re-search 開し	る

- 3 Bluetoothオーディオデバイスの接続が成功すると、オーディオデバイ スからプロジェクターの音声が出力されます。
 - 接続されたBluetoothデバイスは、[登録済みのデバイスリスト]に自動 的に追加されます。登録されたBluetoothデバイスは、[登録済みのデ バイスリスト]から選択するだけで接続できます。それらを検索する必 要はありません。
 - 接続されたデバイスは、SETTINGSボタンを押してメインメニューを 開き、[ワイヤレス]→[登録済みのデバイスリスト]からのみ切断で きます。

登録済みのデバイスリストのBluetoothデバイスの接 続、切断、または削除

SETTINGSボタンを押してメインメニューを開き、[ワイヤレス]→[登録済 みのデバイスリスト]で、Bluetoothデバイスは接続された順序で表示され、 それらを選択するだけで同じデバイスを再接続できます。もう一度検索する 必要はありません。

● 登録済みのう	デバイスリスト
リスト	
HBS-700	۲
• 削除	
デバイスに接続するには、[OK](@)を押してください。
すべて削除	閉じる

接続中

[登録済みのデバイスリスト]からBluetoothデバイスを選択して接続します。

- デバイスの特性に応じて登録済みBluetoothデバイスは、自動的に接続を 開始します。(Bluetoothデバイスの取扱説明書を参照してください)。
- [中止]を選択すると接続処理を直ちに中止します。
- デバイスへの接続にかかる時間は、信号の強さとデバイスの数によって異なります。

切断

デバイスを切断するには、[切断]を選択します。

デバイスは、[登録済みのデバイスリスト]からのみ切断できます。

削除

任意の登録済みデバイスを削除するには、 [マーク付きを削除]または[すべて 削除]を選択します。

- マーク付きを削除:選択したデバイスを削除するにはリモコンの赤色ボタンを押します。
- すべて削除:すべての登録済みデバイスを削除するには、[登録済みのデバイスリスト]で[すべて削除]を選択します。

AVシンクの調整

Bluetoothデバイスが接続されたら、SETTINGSボタンを押してメインメニ ューを開き、[ワイヤレス] → [AVシンク]に移動し、ビデオとBluetoothへ ッドセットのサウンドの間の同期を調整します。



- この機能はBluetoothデバイスが接続されているときのみ使用できます。
- オーディオの同期は製造元によって異なる場合があります。
- 接続されているUSBドライブからビデオを再生するときには、[オーディオ 設定]メニューを使用して、[AVシンク]を調整することもできます。

マイメディア

使用する前に

USBデバイスの接続

USBデバイス(外付けハードディスクドライ ブ、USBメモリ)をプロジェクターのUSB端 子に接続し、USBデバイスに保存されてい るコンテンツファイルをプロジェクターで再 生できます。

USBデバイスにデータを書き込んだり、 USBデバイス上のデータを削除したりする ことはできません。以下に示しているよう にUSBデバイスを接続します。



<u>USBデバイスの切断</u>

- 1 Q.MENUボタンをクリックします。
- 2 く、 >ボタンで、 [USBデバイス]に移動し、 OKボタンを押します。
- 3 取り外す前にUSBを選択し、USBデバイスの停止確認が終わるまで待って、USBを切断しなおします。



USBデバイスの使用上のヒント

- USBストレージデバイスが自動認識プログラムを内蔵していたり、独自の ドライバーを使用している場合、機能が使用できない可能性があります。
- 一部のUSBストレージデバイスは、機能しないか、機能が使用できない場合があります。
- USB延長ケーブルを使用すると、USBデバイスが正常に認識されない場合や、 正しく機能しない場合があります。
- Windows FAT32またはNTFS形式でフォーマットされているUSBストレ ージデバイスのみを使用してください。
- 外部USB ハードディスクドライブの場合、定格電圧5V未満、定格電流 500mA未満のデバイスを使用することをお勧めします。
- 電源のあるUSBハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします。(供給電力が十分でない場合、USBストレージデバイスが正しく検出されないことがあります)。
- 32GB以下のUSBフラッシュメモリーまたは2TB以下のUSB ハードディ スクドライブを使用することをお勧めします。
- 省エネ機能付きUSB ハードディスクドライブが正常に動作しない場合、電源をオフにしてもう一度オンにします。詳細については、USB ハードディスクドライブの取扱説明書を参照してください。
- USBストレージデバイスのデータは破損する可能性があるため、重要なフ アイルは、あらかじめバックアップしてください。データの破損、損失に 関しては、保証の対象外になります。

マイメディアを使用するには

1 リモコンのSETTINGSボタンを押します。

2 [マイメディア]を選択します。

リストから再生するファイルを選択します。選択したファイルを視聴します。 ファイルの再生中にQ.MENUボタンを押すと、再生に関連する設定ができます。

マイメディアでサポートされるファイル形式

- 最大データ転送レート: 20Mbps(メガビット/秒)
- サポートされる外部字幕形式:*.smi、*.srt、
 .sub(MicroDVD、SubViewer 1.0/2.0)、.ass、*.ssa、
 .txt(TMPlayer)、.psb(PowerDivX)
- サポートされている内部字幕形式:SRT/ASS/SSA(DivX6から生成され る内部字幕をサポート)

サポートされている動画ファイル形式

最大: 1920 x 1080 @ 30p(Motion JPEG 640 x 480 @ 30pのみ)

拡張子	コーデック	
.asf .wmv	ビデオ	VC-1アドバンストプロファイル、VC-1シンプル およびメインプロファイル
	音声	WMA Standard、WMA 9 Professional
.divx	ビデオ	DivX3.11、DivX4、DivX5、DivX6、XVID、 H.264/AVC
.avi	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III(MP3)、 Dolby Digital
.mp4	ビデオ	H.264/AVC、MPEG-4 Part 2
.m4v .mov	音声	AAC
mku	ビデオ	H.264/AVC
.111K.V	音声	HE-AAC、Dolby Digital
.ts	ビデオ	H.264/AVC、MPEG-2、VC-1
.trp .tp .mts .m2ts	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III(MP3)、 Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC
	ビデオ	MPEG-1、MPEG-2
.vob	音声	Dolby Digital、MPEG-1 Layer I、II、 DVD-LPCM
.mpg	ビデオ	MPEG-1
.mpeg	音声	MPEG-1 Layer I、II

48 <u>マイメディア</u>

サポートされている音声ファイル形式

ファイルタ イプ	項目	情報
MP3	ビットレート	32kbps~320kbps
	サンプリングレ ート	32kHz~48kHz
	ビットレート	32kbps~640kbps
AC3	サンプリングレ ート	32kHz、44.1kHz、48kHz
	ビットレート	32kbps~448kbps
MPEG	サンプリングレ ート	32kHz~48kHz
	ビットレート	24kbps~3844kbps
AAC. HEAAC	サンプリングレ ート	8kHz~96kHz
	ビットレート	1.44kbps
CDDA	サンプリングレ ート	44.1kHz
LPCM	ビットレート	1.41Mbps~9.6Mbps
	サンプリングレ ート	マルチチャンネル: 44.1kHz、88.2kHz/ 48kHz、96kHz ステレオ:176.4kHz、192kHz

サポートされている画像ファイル形式

ファイルタ イプ	項目	情報
2D (jpeg, jpg, jpe), 3D (jps)	ファイル タイプ	SOF0:ベースライン、 SOF1:拡張シーケンシャル、 SOF2:プログレッシブ
	画像解 像度	最小:64 x 64 最大: 標準タイプ:15360(W) x 8640(H) プログレッシブタイプ:1920(W) x 1440(H)
3D (mpo)	サポート されるフ ァイルタ イプ	MPO
	画像解 像度	4:3サイズ: 3648 x 2736、2592 x 1944、 2048 x 1536 3:2サイズ:3648 x 2432
BMP	画像解 像度	最小:64 x 64 最大:9600(W) x 6400(H)
PNG	ファイル タイプ	インターレース、非インターレース
	画像解 像度	最小:64 x 64 最大: インターレース:1200(W) x 800(H) 非インターレース:9600(W) x 6400(H)

* BMP形式およびPNG形式のファイルは、JPEGより表示が遅い場合があります。

ビデオを再生する

[映画リスト]では、接続されたUSBデバイスに保存されている動画を鑑賞できます。

動画の再生中でも設定の変更することができます。

- 🕑 ヒント -

- 動画ファイル再生のヒント
 - ユーザーが作成した字幕は正常に動作しないことがあります。
 - ビデオファイルと字幕ファイルは、同じフォルダーに置く必要があります。また、字幕を正しく表示するには、ビデオファイルと字幕ファイルの名前を同じにする必要があります。
 - GMC(Global Motion Compensation)またはQpel(Quarterpel Motion Estimation)が含まれているストリームはサポートしてい ません。
 - H.264/AVCプロファイルレベル4.1以下のみがサポートされます。
 - 50GB(ギガバイト)を超えるビデオファイルの再生はサポートされていません。ファイルサイズの制限は、エンコーディング環境によって異なります。
 - DTS音声コーデックはサポートされていません。

映画リストの参照

接続されているデバイスに保存されているビデオファイルを再生します。

- 1 USBストレージデバイスを接続します。
- 2 リモコンのUSBボタンを押します。
- 3 <、>ボタンで、[映画リスト]を選択し、OKボタンを押します。
- 4 A、V、<、>ボタンで、目的のファイルを選択し、OKボタンを押します。



番号	説明		
	サムネイル		
0	破損している、また はサポートされてい ない形式のファイル		
2	ファイルリスト		
3	上位のフォルダーに移動します。		
4	現在のページ/フォルダーの合計ページ		
5	現在のページ/ファイルの合計ページ		
_	この画面上でのリモコン操作が表示されます。		
6	表示されたボタン(緑色、♪、EXITボタン)を押すと該当の動作が 実行されます。		

5 次のボタンを使用して、再生を制御します。



項目		説明		
•	現在の再会で早送り	現在の再生位置を表示します。 くボタンで早戻し、 >ボタン で早送りができます。		
	再生を停	止して、[映画リスト]に戻ります。		
	通常の再	主に戻ります。		
	再生を一時停止します。 一時停止後10分間リモコンのボタンが何も押されなかった場合、再生が再開されます。			
		スローモーションで表示します。		
*	早送り再 次のよう 16倍速、	主、早戻し再生します。ボタンを複数回押すことで、 こ再生速度が変わります:2倍速、4倍速、8倍速、 32倍速		
eø	画面のピークの明るさを調節して消費電力を削減します。			
3D	3D画面に切り替えます。			
オプシ ョン	再生に関す	する各種設定が行えます。		
隠す	メニュー; します。	が非表示になります。 表示するには、OKボタンを押		
終了	ファイル	再生を終了し、[映画リスト]画面に戻ります。		

[映画リスト]の設定

1 Q.MENUボタンを押します。

2 A、Vボタンで、目的の設定項目に移動し、OKボタンを押します。

3 人、 V、 く、 >ボタンで、 各項目を設定します。

動画再生設定をします。

項目	説明
アスペク ト比	 再生画面のサイズを選択します。 フル:ビデオのアスペクト比に関係なく、画面全体に表示されます。 オリジナル:ビデオを映像のアスペクト比で表示します。
音声言語	複数のオーディオトラックがあるファイルの音声を選択しま す。ファイルにオーディオトラックが1つしかない場合、こ の設定項目は利用できません。
字幕言語	 字幕の表示と非表示を切り替えることができます。 言語:いずれかの使用可能な言語を選択できます。 コードページ:字幕に使用する文字セットを選択できます。 ブフォルトでは、字幕は[設定1] → [言語]で設定した言語で表示されます。 同期:字幕がビデオと同期されていない場合、字幕の速度を0.5秒単位で調整できます。 位置:字幕の位置を調整します。 サイズ:字幕のフォントサイズを変更します。
リピート	繰り返し機能のオンとオフを切り替えます。 オフに設定すると、次のファイルの名前が前のファイルと似 ている場合には、次のファイルが再生されます。

動画再生設定

ビデオの設定を変更できます。(77ページの「映像設定」を参照してください。)

オーディオ設定

オーディオの設定を変更できます。(84ページの「オーディオ設定」を参照してください。)

BLUETOOTH

Bluetoothの設定を変更できます。(39ページの「プロジェクターの Bluetoothを設定する」を参照してください。)

3D映像設定

3D映像または2D映像を設定できます。

3D設定

3Dを設定できます。 (89ページの「[設定 1]の設定」を参照してくださ い。)

54 <u>マイメディア</u>

DivXコードの登録

DivXのプロテクト映像を再生するためのDivX登録コードを確認します。 登録はhttp://vod.divx.comで行います。

登録コードは、www.divx.com/vodで映画をレンタルまたは購入するため に必要です。

1 メインメニューから、[設定1]に移動し、[DivX VOD]を押します。

登録	
登録解除	
閉じる	

2 ∧、 ∨ボタンで、 [登録]に移動し、 OKボタンを押します。



3 DivX [登録コード]を確認します。



DivXコードを登録解除するには

DivX DRM機能を無効にするには、DivX登録解除コードを使用します。
 メインメニューから、[設定1]に移動し、[DivX VOD]を押します。
 ヘ、Vボタンで、[登録解除]に移動し、OKボタンを押します。



3 [はい]を選択します。



写真を表示する

接続されたデバイスに保存されている写真を表示することができます。

サポートされている画像ファイル

写真(*.JPEG)

ベースライン:

64 x 64ピクセル~15360 x 8640ピクセル(幅×高さ)

プログレッシブ:

64 x 64ピクセル~1920 x 1440ピクセル(幅×高さ)

- サポートされていないファイルは、"×"マークがついたアイコンが表示されます。
- 破損ファイル、または再生できないファイル形式の場合は、エラーメッセ ージが表示されます。
- 破損したファイルは、適切に再生できません。
- 高解像度の画像の表示には時間がかかることがあります。

写真リストの参照

- 1 USBストレージデバイスを接続します。
- 2 USBボタンを押します。
 3 く、>ボタンで、[写真リスト]を選択し、OKボタンを押します。
- 4 ∧、 ∨、 <、 >ボタンで、 再生するファイルを選択し、 OKボタンを 押します。



番号	説明
	サムネイル
0	破損している、また はサポートされてい ない形式のファイル
2	ファイルリスト
3	上位のフォルダーに移動します。
4	現在のページ/フォルダーの合計ページ
6	現在のページ/ファイルの合計ページ
6	この画面上でのリモコン操作が表示されます。 表示されたボタン(緑色、 5、EXITボタン)を押すと該当の動作が 実行されます。

58 <u>マイメディア</u>



項目	説明
00	前の写真または次の写真を選択します。
スライドシ ョー	写真をスライドショーで収録されている写真をすべて再生 します。 ・ [オプション]→[画像再生設定]→[スライド速度]で再生速 度を調整できます。
BGM	スライドショー再生中のBGMを設定できます。 • [オプション]→[画像再生設定]→[BGM]で音声ファイル を選択します。
υ	 写真を回転させます。 ボタンを複数回押すことで、時計回りで90度、180度、270度、360度に回転します。 サポートされている最大解像度の高さより幅が大きい場合、写真を回転することはできません。
Q	画像の拡大ができます。 リモコンの青ボタンを複数回押すことで、200%、400%、 100%に切り替わります。
eØ	画面のピークの明るさを調節して消費電力を削減します。
ED	3D画面に切り替えます。
オプション	再生に関する各種設定が行えます。
隠す	メニューが非表示になります。 メニューを表示するには、リモコンのOKボタンを押しま す。
終了	ファイル再生を終了し、[写真リスト]画面に戻ります。

5 次のボタンを使用して、再生を制御します。

[写真リスト]のオプション

1 Q.MENUボタンを押します。

2 A、Vボタンで、設定する項目に移動し、OKボタンを押します。

3 ∧、 ∨、 く、 >ボタンで、 各項目を設定します。

画像再生設定

項目	説明			
スライド 速度	スライドショーの速度を選択します。			
BGM	 バックグラウンドミュージックを設定します。 バックグラウンドミュージックの再生中に音楽フォルダーを変更することはできません。 バックグラウンドミュージックには、同じデバイスのフォルダーのみを選択できます。 リピート:繰り返し再生を選択します。 ランダム:ランダム再生を選択します。 			

動画再生設定

ビデオの設定を変更できます。(77ページの「映像設定」を参照してください。)

オーディオ設定

オーディオの設定を変更できます。(84ページの「オーディオ設定」を参照してください。)

BLUETOOTH

Bluetoothの設定を変更できます。(39ページの「プロジェクターの Bluetoothを設定する」を参照してください。)

3D映像設定

3D映像または2D映像を設定できます。

3D設定

3Dを設定できます。(89ページの「[設定1]の設定」を参照してください。)

音楽を再生する

接続されたデバイスに保存されている音声ファイルを再生できます。

サポートされている音声ファイル

*.MP3

- ビットレート範囲:32Kbps~320Kbps
- サンプリングレート (MPEG1レイヤー3): 32kHz、44.1kHz、48kHz
- ・ サンプリングレート (MPEG2レイヤー3): 16kHz、22.05kHz、24kHz

音楽リストの参照

- 1 USBストレージデバイスを接続します。
- USBボタンを押します。
 く、>ボタンで、[音楽] く、>ボタンで、[音楽リスト]を選択し、OKボタンを押します。
- 4 ∧、 ∨、 <、 >ボタンで、 再生するファイルを選択し、 OKボタンを 押します。



番号	説明				
	サムネイル				
0	破損している、また はサポートされてい ない形式のファイル				
2	ファイル リスト				
3	上位のフォルダーに移動します。				
4	現在のページ/フォルダーの合計ページ				
6	現在のページ/ファイルの合計ページ				
6	この画面上でのリモコン操作が表示されます。				
	表示されたボタン(緑色、 う、EXITボタン)を押すと該当の動作が 実行されます。				

5 次のボタンを使用して、再生を制御します。



項目	説明				
	曲の早送り、早戻しができます。				
	再生を停止します。				
	通常の再生に戻ります。				
	再生を一時停止します。				
K	前のファイル/次のファイルを再生します。				
eØ	画面のピークの明るさを調節して消費電力を削減します。				
オプション	音声再生に関する各種設定が行えます。				
隠す 思す メニューが非表示になります。 ・ 再生バーを表示するには、OKボタンを押します。					
終了	ファイル再生を終了し、[音楽リスト]画面に戻ります。				

[音楽リスト]のオプション

1 Q.MENUボタンを押します。

2 ∧、 Vボタンで、 設定する項目に移動し、 OKボタンを押します。

3 ∧、 ∨、 く、 >ボタンで、 各項目を設定します。

オーディオ再生の設定をします。

項目	説明		
リピート	音声ファイルを繰り返し再生します。		
ランダム	音声ファイルをランダムに再生します。		

オーディオ設定

オーディオの設定を変更できます。(84ページの「オーディオ設定」を参照してください。)

BLUETOOTH

Bluetoothの設定を変更できます。(39ページの「プロジェクターの Bluetoothを設定する」を参照してください。) 64 <u>マイメディア</u>

ファイルを表示する

接続されたデバイスに保存されているドキュメントファイルを表示できます。

サポートされているファイル形式

XLS、XLSX、DOC、DOCX、PPT、PPTX、TXT、PDF、HWP Microsoft Officeパージョン:97/2000/2002/2003/2007 Adobe PDFパージョン:1.0/1.1/1.2/1.3/1.4 Hangulバージョン:97/2000/2002/2005/2007

- File ViewerはPCでの表示と異なることがあります。
- 画像を含むドキュメントは、解像度が低くなることがあります。
- ドキュメントのサイズが大きいか、多くのページが含まれている場合は、 読み込みに時間がかかることがあります。
- サポートされていないフォントは、別のフォントで置き換えられることが あります。
- File Viewerでは、高解像度画像が含まれるOfficeドキュメントを開けない ことがあります。その場合、画像のファイルサイズを小さくしてUSBスト レージデバイスに保存し、File Viewerをもう一度実行するか、PCをプロジ ェクターに接続してPCからファイルを開いてください。

ファイルリストの参照

- 1 USBストレージデバイスを接続します。
- USBボタンを押します。
 く、>ボタンで、[ファイル リスト]を選択し、OKボタンを押します。
- 4 ∧、 ∨、 く、 >ボタンで、 再生するファイルを選択し、 OKボタンを 押します。



番号	説明		
0	ファイル リスト		
2	上位のフォルダーに移動します。		
3	現在のページ/フォルダーの合計ページ		
4	現在のページ/ファイルの合計ページ		
5	この画面上でのリモコン操作が表示されます。 表示されたボタン(緑色、 う 、EXITボタン)を押すと該当の動作が 実行されます。		

66 マイメディア

5 次のボタンを使用して、再生を制御します。

 [ページを指定]を選択します。ページ番号選択用のポップアップウィンド ウが表示されます。ページ番号を入力して、目的のページに移動します。

VOLUME +, -ボタンを押して、ズームイン/ズームアウトします。
 OKボタンを押し、上/下/左/右ボタンを押して、[ページを指定]または[ズーム]に移動します。



項目	説明		
ページを 指定	目的のページに移動します。 へ、		
ズーム	ドキュメントを拡大、縮小します。		
オプション	File Viewerに関する各種設定が行えます。		
隠す	メニューが非表示になります。 表示するには、OKボタンを押します。		
終了	ファイル再生を終了し、[ファイルリスト]画面に戻ります。		

[ファイルリスト]の設定

1 Q.MENUボタンを押します。

2 ∧、 ∨、 く、 >ボタンで、 各項目を設定します。

FileViewer オプションの設定

項目	説明	
	オン	1ページずつ読み込んで表示します。 初期の読 み込みにかかる時間は短くなりますが、サイズ の大きなコンテンツを含むページの表示が遅く なることがあります。
ページごとに読 み込み	オフ	表示を開始する前に、ファイル内のすべてのペ ージをメモリに読み込みます。 初期の読み込み にかかる時間は長くなりますが、読み込みの完 了後はページをすばやく移動できます。 ファイルのサイズが大きすぎる場合、すべての ページを読み込めないことがあります。
画像の品質	ドキュメントに含まれている画像の品質を設定できま す。 画像の品質の設定には、[高]、[中]、[低]の設定が あります。 画像の品質が高いほど、表示時間が遅くな ります。	
ドキュメント 位置調整	ドキュメントの位置調整を高さに合わせるか、幅に合わ せるかを設定します。	

FileViewerはひとつしか開けません。他のドキュメントを開く場合は、再生 中のドキュメントを閉じてください。

3D機能

3D技術では、左右の目に異なるビデオフレームを使用してビデオに奥行きを 加えます。

3D視聴時の注意事項

▲ 警告

- 3Dビデオまたは映像に近づきすぎたり長時間視聴したりすると、かすみ目の原因となることがあります。
- 3Dメガネをかけてプロジェクトまたはゲーム画面を長時間見続けると、目 眩や眼精疲労を感じることがあります。
- 持病(心臓疾患、循環器疾患、血圧関連の病気など)がある方、妊娠中の女性、乗り物酔いを起こしやすい方は3D映像を視聴しないことをお勧めします。
- ・ 立体視が困難な方は、3D映像コンテンツの視聴を避けてください。二重に見えたり、視覚的違和感を感じたりすることがあります。
- 斜視、弱視、乱視の方は、映像の奥行きを認識できず、二重に見える画面 や他の違和感により疲労を感じやすい場合があります。その場合は、頻繁 に休憩を取ることをお勧めします。
- 3Dは現実として認識される可能性があるため、視聴者の中には驚いたり極度に興奮したりする方がいます。
- ・ 壊れやすいものや、倒れやすいもののそばで3D映像を見ないでください。

- 光過敏性発作に関する警告
 - ビデオゲームで点滅する光や特定のパターンを視聴したときに痙攣、 めまい、頭痛、吐き気などの症状を起こす可能性があります。家族 に、てんかんの病歴がある方または何らかの発作経験者がおられる場合 は、3D映像を視聴する前に医師に相談してください。 3D映像の視聴中に次のいずれかの症状を感じた場合は、すぐに視聴を 中止し、休憩してください。
 - めまい、視界のちらつき、目や顔面の筋肉のひきつり、不随意運動、けいれん、意識消失、混乱、方向感覚の消失、嘔吐。症状が解消されない場合は、医師に相談してください。
- 次の予防手段を取ると、光過敏性発作の危険性を下げることができます。
 - 1時間視聴するたびに 5~15分間の休息をとってください。
 - 左右の視力が異なる場合は、視力を矯正してから3Dビデオを視聴して ください。
 - 3Dビデオが正面かつ眼の高さで再生されるようにしてください。
 - 頭痛、疲労、めまいを感じた場合は、鑑賞を止めてください。
 - 疲れているときや病気のときは3D映像を長時間見ないでください。



特に、お子様が3Dビデオを見るときは特別な配慮が必要です。

70 3D機能

3Dビデオ視聴時の注意事項

- 5歳以下のお子様には3Dビデオを見せないでください。眼の発育に悪影響 を与えるおそれがあります。
- 10歳以下のお子様は、視力が成長を続けているため、過度に画面に触ったり飛びついたりする場合があります。大人が指導および監視のもと、視聴してください。
- お子様は両目の間隔が大人よりも狭いので、それぞれの目で見る画像の視差を大きく感じる傾向があります。そのため、同じ3Dビデオを観ているときでも、大人よりも深く奥行きを感じることがあります。
- 19歳以下の場合、3Dコンテンツの光の刺激に敏感に反応する場合があります。疲れているときの長時間視聴はおやめください。
- ご年配の方は、若い方より奥行きを感じにくいことがあります。 推奨され る距離よりも近くでビデオを見ないでください。
- 最適な視聴角度と距離の範囲内で3D映像を視聴してください。
- 視聴角度または距離の範囲外にいる場合は、3D映像を視聴できないことがあります。横になって3D映像を視聴することはできません。
- プロジェクターの電源をオンにし、プロジェクターが初期化されているときに、左右の映像が重なって見えることがあります。正しく見えるまでしばらく時間がかかることがあります。
- ・ 画面から目を離し、再度3D映像を見た場合、3D映像が正常に見えるまでしばらく時間がかかることがあります。
- 三波長型蛍光灯(50Hz~60Hz)の下、または窓の近くで3D映像を視聴すると、映像がちらつくことがあります。この場合は、カーテンで直射日光を遮るか、室内を暗くすることをお勧めします。
- 3Dメガネは、DLP-LINK(DLP対応)タイプでなければなりません。
- プロジェクターと3Dメガネの間に障害物があると、正常に3Dを視聴できないことがあります。
- 3Dプロジェクターは、他のデバイスからできるだけ離して設置してください。
- このプロジェクターでサポートされていない3D放送形式が標準になった 場合は、セットトップボックスなどの追加のデバイスが必要になることが あります。

3Dメガネを使用する際には、次のことを確認してください。

3Dメガネを、通常のメガネ、サングラス、または保護メガネとして使用しないでください。

- 他の用途で使用した場合、視力に影響するおそれがあります。

- 3Dメガネを、高温または低温の場所に保管しないでください。 変形する おそれがあります。変形したメガネは使用しないでください。
- 3Dメガネを落としたり他の物体に接触させたりしないでください。
 製品が誤って作動するおそれがあります。
- 3Dメガネのレンズは傷がつきやすいので、汚れを拭き取る際は、柔らかい きれいな布を使用してください。
- 布に異物が付着していると傷の原因となります。
- 3Dメガネのレンズの表面を、先のとがったもので引っかいたり、化学薬品で拭いたりしないでください。レンズに傷が付くと、3Dを見たときに映像が正常に見えないことがあります。

3D映像視聴の要件



* 3Dビデオは暗い室内環境でのみ視聴してください。

🕑 ヒント • DLP-LINKメガネとの同期は、画面から反射される光の強度の影響を 受けます。このため、周囲光が明るい場合、画面が大きい場合、また はエコモードを最大にしている場合など、画面から反射される光が十 分に明るくない場合は、DLP-LINKメガネとの同期が正しくできないこ とがあります。 3Dビデオを再生しているとき、一部のメニューは機能しないことがあ。 ります。

 3Dビデオ形式オプションをプロジェクターで選択したときに限り、3D ビデオを適切に視聴できます。
DLP-LINK(DLP対応)タイプの3Dメガネの使用方法

- プロジェクターで再生されている3D映像を見ながら、メガネのボタンを 押します。
- 2 ボタンを押すと、メガネのフリッカーが3D映像と同期されます(フリッカーの同期は、DLP-LINKタイプのメガネ固有の動作方式です。メガネのタイプによって異なることがあります)。
- 3 3D視聴中にフリッカーや問題が発生した場合は、まず照明を消して部屋を暗くします。メガネに関して不明な点がある場合は、販売店または製造、販売元の業者にお問い合わせください。

3D映像を表示するには

3D映像は、左眼と右眼の若干の違いを利用してプロジェクターの映像を現実の3次元空間のように見せる技術です。

- 1 3D対応のコンテンツを再生します。
- 2 3Dボタンを押して有効にします。
- 3 3D映像の収録形式(サイドバイサイド(左右)か、トップアンドボトム(上下))を選択します。
- 4 3Dメガネの電源をオンにして装着します。 3D映像の表示中に、3Dボタンを押すと、3Dモードオフのメニューが表示されます。OKを選択すると3Dが解除されます。 L/Rボタンを押して、映像の再生方向を切り替えます。より見やすい方を選択してください。
 - 視聴中に3Dボタンを押すと、2Dに戻ります。
- * 3Dの収録方式によって、設定する内容が異なる場合があります。

<u>サポートされている3Dモード</u>

	信号	解像度	水平周 波数 (kHz)	垂直周 波数 (Hz)	サポートされている 3D形式
	720p	1280 x 720	89.9/ 90	59.94/ 60	フレームパッキング
			75	50	フレームパッキング
			45	60	サイドバイサイド、 トップアンドボトム
			37.5	50	サイドバイサイド、 トップアンドボトム
HDMI	1080i	1920 x 1080	33.7	60	サイドバイサイド、 トップアンドボトム
			28.125	50	サイドバイサイド、 トップアンドボトム
	1080p	1920 x 1080	53.95/ 54	23.98/ 24	フレームパッキング
			67.5	60	サイドバイサイド、 トップアンドボト ム、シングルフレー ムシーケンシャル
			27	24	サイドバイサイド、 トップアンドボトム
			33.7	30	サイドバイサイド、 トップアンドボトム
			28.125	50	サイドバイサイド、 トップアンドボト ム、シングルフレー ムシーケンシャル

3D機能 75

	信号	解像度	水平周 波数 (kHz)	垂直周 波数 (Hz)	サポートされている 3D形式
USB	1080p	1920 x 1080	33.75	30	サイドバイサイド、 トップアンドボト ム、MPO、 JPS(写真)
RGB	1080p	1920 x 1080	67.5	60	サイドバイサイド、 トップアンドボトム

設定のカスタマイズ

設定

1 SETTINGSボタンを押します。

2 ∧、 ∨、 <、 >ボタンで、設定する項目を選択し、OKボタンを押し ます。

- 3 人、 V、 <、 >ボタンで、設定する項目への移動、設定を行います。
- 4 終了したらEXITボタンを押します。

メニュー	説明
映像	映像の品質を調整します。
オーディオ	音質と音量を調整します。
タイマー設定	電源オフの時間に関する設定を行います。
ワイヤレス	ワイヤレスに関する設置を行います。
設定1	プロジェクターに関する基本的な設定を行います。
設定2	投影される映像に関する基本的な設定を行います。
入力	投影する入力端子を選択します。
マイメディア	USB端子に接続した外部デバイスに収録された画像、 動画、音声、ドキュメントファイルを観賞できます。

映像設定

- SETTINGSボタンを押します。
- へ、V、<、>ボタンで、
 [映像]を選択し、OKボタンを 押します。
- 3 ∧、∨、<、>ボタンで、 設定する項目への移動、設定 を行います。 - 前のメニューに戻るには、 ●ボタンを押します。
- 4 終了したらEXITボタンを押し ます。

選択可能な画像設定を次の表に示します。

-	映像 ○ K ◎ OK
	• eØ エコモード :低
0	 ・ 投映モード : 標準
Θ	 コントラスト100
8>	・明るさ 50 <u></u>
ŝ	・ カラー 55
16	• 色相 0 "

-ב_צ	説明		
	画面のピークの明るさを調節して消費電力を削減します。		
	モード		
エコモード	オフ/低/高	エコモードの強さを設定します。[高]に設 定すると消費電力量を多く抑えられます が、画面の明るさが抑えられます。	

-ב_א	説明			
	視聴環境や番組に合わせて投映モードを選択します。 各モードはお好みに合わせて画質を調整することもで きます。			
	モード			
	あざやか	ビデオのビジュアル効果を最大限31き出し ます。 コントラスト、明るさ、シャープネスを強調 して、あざやかな映像を表示します。		
投映モード	標準	標準的なコントラスト、明るさ、シャープネ スで映像を表示します。		
	シネマ	映画用に映像を最適化します。		
	スポーツ	主要な色とダイナミックな動作を強調して、 スポーツ用に映像を最適化します。		
	ゲーム	動きの激しい画面のゲーム用に映像を最適 化します。		
	カスタム モード1/ カスタム モード2	[カスタムモード]はより詳細な設定が可能で す。画質を細かく設定して、お好みの画質に 設定することができます。		
コントラスト	画面の明るい領域と暗い領域の差を調整します。			
明るさ	画面の全体的な明るさを調整します。			
シャープネス	- 明るい部分と暗い部分の間の境界のシャープネスを調整します。水平および垂直のシャープネスは、「カスタムモード1]/「カスタムモード2]でのみ使用できます。			
カラー	すべての彩度の強度を調整します。			
色相	赤と緑のレベル間のバランスを調整します。			
アドバンス ト コントロ ール	詳細設定をカスタマイズします。			
映像オプシ ョン	その他映像に関する設定を行います。			
映像設定リセ ット	すべての映像設定を初期化します。初期化すると元には戻せなくなりますので、ご注意ください。			
アスペクト比	映像の縦横比を変更します。			

メニュー	説明			
	RGB-PC入力の画質を調整します。			
	オプション			
	解像度	使用できる解像度は、縦が768ピクセル (1024 × 768 / 1280 × 768 / 1360 × 768)の60Hzと縦が1050ピク セル(1400 × 1050 / 1680 × 1050)の 60Hzです。		
画面(RGB- PC)	自動設定	プロジェクターの内部設定とさまざまな PCグラフィック信号との矛盾によって生 じる水平方向の幅の不一致と映像の揺れ が、自動的にキャリブレーションされて画 質が最適になります。 ・ リモコンのAUTOボタンも使用できま す。		
	位置	映像を上/下/左/右に移動します。		
	水平サイズ	画面のサイズを変更します。		
	位相	水平方向のノイズを除去して、画像を鮮明 にします。		
	リセット	すべての設定を工場出荷時のデフォルト設 定に戻します。		

80 設定のカスタマイズ

アドバンスト コントロール

メニュー	説明
ダイナミック コントラスト	スクリーンの明るさに応じて、コントラストおよびカラー が最適になるよう調整します。
ダイナミック カラー	自然な色に見えるように色を調整します。
色域	 表現される色域を選択します。 標準:ディスプレイの機能に関係なく、入力信号の元の 色を表示します。 ワイド:ディスプレイの豊富な色を使用します。
肌色	肌色のスペクトルを個別に設定して、ユーザー定義の肌色 に補正することができます。
青色の補正	青色を個別に設定できます。
緑色の補正	草木の色のスペクトル(草地や丘など)を個別に設定できます。
ガンマ	階調曲線を、映像の出入力信号の比に応じて設定します。

* 入力信号または他の映像の設定によっては、詳細な調整項目の範囲が異な る場合があります。 カスタム詳細設定

メニュー	説明
ダイナミック コントラスト	スクリーンの明るさに応じて、コントラストおよびカラ ーが最適になるよう調整します。
色域	 表現される色域を選択します。 標準:ディスプレイの機能に関係なく、入力信号の元の色を表示します。 ワイド:ディスプレイの豊富な色を使用します。
エッジエンハ ンサー	映像のエッジを強調しつつ、自然な映像で表示します。
カラーフィル ター	RGB(赤/緑/青)チャンネルをそれぞれ抽出して表示させます。この表示を元に各色の彩度と色相を調整できます。
	[カスタムモード]では、より詳細な設定ができます。
色温度	 ガンマ:中間色の明暗を設定します。 a. 方法:2ポイント パターン:内部、外部 ポイント:低、高 ポイント:低、高 すべての入力に適用:[色温度]の値がすべての入力 モードに適用されます。 b. 方法:20ポイントIRE パターン:内部、外部 IRE(Institute of Radio Engineers)は、ビデオ信 号のサイズを表示する単位で、5、10、15~100の 範囲で設定できます。以下に示すように、各設定を 微調整できます。 輝度:調整範囲は50~500です。 ボ/線/青:調整範囲は-50~+50です。 すべての入力に適用:[色温度]の値がすべての入力 モードに適用されます。

メニュー	説明		
カラー マネー ジメント シス テム	 赤/緑/凊/シアン/マゼンダ/イエロー各色ごとに調整します。これにより、専門家はテストパターンを使用して色相を調整できます。他の色に影響を与えずに、 6色(赤/緑/凊/青緑/赤紫/黄)を選択的に調整できます。 調整後も、通常の映像で色の変化がわからないこともあります。 彩度赤/緑/凊/シアン/マゼンダ/イエロー、 色相赤/緑/青/シアン/マゼンダ/イエロー、 輝度赤/緑/青/シアン/マゼンダ/イエロー: 調整範囲は、それぞれ-30~+30です。 		

*入力信号または他の映像の設定によっては、詳細な調整項目の範囲が異な る場合があります。 映像オプション

メニュー	説明
ノイズ リダクシ ョン	ビデオの画面ノイズを減らします。
MPEGノイズリダ クション	デジタル映像信号の作成中に生成されるノイズを除 去します。
黒レベル	画面の暗さの度合い(黒レベル)を使用して、映像入 力の黒レベルに合わせて画面の明るさまたは暗さを 調整します。
リアルシネマ	映画の視聴用に画面を最適化します。
色温度	好みに合わせて画面の色全体を調整できます。 [暖色]、[ナチュラル]、[寒色]、または[中間]を選択 します。

オーディオ設定

- 1 SETTINGSボタンを押します。
- 2 ∧、∨、<、>ボタンで、 [オーディオ]を選択し、OKボタ ンを押します。
- ヘ、V、<、>ボタンで、 設定する項目をカーソルを合わ せて調整します。
 一前のメニューに戻るには、 ボタンを押します。
- 4 終了したらEXITボタンを押し ます。



選択可能なオーディオ設定を次の表に示します。

メニュー	説明		
	サウンドモードを設定します。		
サウンド モード	モード		
	標準	すべてのタイプのビデオに適してい ます。	
	ニュース/音楽/シネマ/ スポーツ/ゲーム	それぞれのジャンルに最適な音声に 設定します。	

メニュー	説明		
	ユーザーはさまざまなサ	ウンド効果を選択できます。	
	モード		
	クリアボイスII	プロジェクターからの音声が明瞭に なります。	
+	バーチャルサラウンド	LG独自の音声処理技術により、2つ のスピーカーから5チャンネルのよう なサラウンドサウンドをお楽しみい ただけます。 ・ [クリアボイスII]を[オン]に設定す ると、 [ダイナミックイコライザー]は選択 できません。	
効果	イコライザー	イコライザーを使用して、好みの レベルになるように音量を調整し ます。 ・オーディオ帯域(100Hz/300Hz/ 1kHz/3kHz/10kHz)を-10~10で 調整できます。 ・リセット:ユーザーが変更した音 声オプションをリセットします。	
	バランス	左右のスピーカーのバランスを調整 します。	
	リセット	サウンド効果メニューで適用されて いる効果を初期化します。	
自動ボリ ューム	音量を自動的に調整しま	<u>च</u> ि	

タイマー設定

- 1 SETTINGSボタンを押します。
- 2 ∧、 ∨、 <、 >ボタンで、
 [タイマー設定]を選択し、OKボ タンを押します。
- 3 ∧、 ∨、 <、 >ボタンで、 設定する項目への移動、設定を 行います。
 – 前のメニューに戻るには、 ボタンを押します。
- 4 終了したらEXITボタンを押し ます。



Θ	タイマー設定	
• • • • •	 オフタイマー オートパワーオフ 自動スタンバイ 	: オフ : 60分 : 4時間
166		

メニュー	説明
オフタイ マー	事前に設定した時間(10分単位)の経過後にプロジェクターが オフになります。 [オフタイマー]をキャンセルするには、[オフ]を選択します。
オートパ ワーオフ	入力信号を受信していないか、まったく操作がない場合、一 定の時間経過後にプロジェクターの電源が自動的にオフにな ります。
自動スタ ンバイ	プロジェクターのボタン操作がないまま一定の時間が経過す ると、プロジェクターの電源を自動的にオフにします。

ワイヤレス設定

- * メニューのイラストは製品の実際の画面と異なる場合があります。 (モデルごとに異なります)
- 1 SETTINGSボタンを押します。
- 2 ∧、∨、く、>ボタンで、「ワ イヤレス]を選択し、OKボタン を押します。
- 3 ∧、∨、く、>ボタンで、
 設定する項目への移動、設定を行います。
 前のメニューに戻るには、
 ボタンを押します。
- 4 終了したらEXITボタンを押し ます。

選択可能なワイヤレス設定を次の表に示します。

メニュー	説明	
	SCREEN SHAREは、接続されているデバイスの画面を 表示します。 ・ SCREEN SHAREのIDを確認できます。	
		モード
	グループ	これは、SCREEN SHARE機能をサポー トする各デバイスのグループ設定です。 ワ イヤレス接続が弱いか安定していない場合 は、グループ設定を調整して問題を解決し ます。
SCREEN SHARE	チャンネル	 ワイヤレス接続に使用されるチャンネルを 変更できます。 チャンネルの検索:チャンネルの検索方 法を選択します。 自動:ブロジェクターが使用可能なチャンネルを検索し、最後に使用したチャンネルを検索し、最後に使用したチャンネルを自動的に選択します。 チャンネルを自動的に選択できます。 チャンネル:[チャンネルの検索]が[手動]に設定されているときに表示されます。使用するチャンネル番号を指定できます。



メニュー	説明	
	Bluetoothオーディオデバイスから音声を出力します。 最初に、Bluetoothをオンに設定します。	
		項目
Bluetooth	デバイスの 検索	接続先のデバイスを検索します。
	登録済みの デバイスリ スト	接続されたデバイスは、登録済みのデバイス リストに保存されます。保存された登録済み のデバイスのリストを表示できます。
	AVシンク	ビデオと音声が正しく同期されていない場合 は、同期を手動で調整できます。

:オフ

:1

:標準

[設定1]の設定

- 1 SETTINGSボタンを押します。
- 2 ∧、 ∨、 く、 >ボタンで、
 [設定1]を選択し、OKボタンを 押します。
- 3 ∧、∨、く、>ボタンで、 設定する項目への移動、設定を 行います。 - 前のメニューに戻るには、 ボタンを押します。
- 4 終了したらEXITボタンを押し ます。
- 選択可能な設定1の設定を次の表に示します。

ノニニイ	説明	
言語	メニューを表示する言語を選択します。	
	3Dモードを選択します。まず3D映像の収録形式(サイ ドバイサイド(左右)か、トップアンドボトム(上下))を選 択します。	
3D F		モード
	3D映像調節	3D映像の左右の切り替えが可能です。
自動入力検索	入力信号を受信したときに、それを自動的に検索し て、入力信号タイプを表示します。外部入力(RGB- PC、HDMI、AV、およびコンポーネント)でのみ使用 できます。	
DivX VOD	DivX関連の設定を行います。	
初期設定	すべてのプロジェクター設定を工場出荷時のデフォルト 設定に戻します。 初期化中に電源をオフにしないでください。	
設定ID	[設定ID]の範囲は、1~99です。 保存した[設定ID]のみ有効になります。	
モード設定	[標準]または[ス 家庭で使用する: [ストアモード](トアモード]を選択します。 場合は、[標準]を選択してください。 よ、店頭での展示に使用されます。

🚔 設定1

● ・3Dモード

自動入力検索

DivX VOD

初期設定

• 設定ID

• モード設定

言語

 \bigcirc

8

1

[設定2]の設定

- 1 SETTINGSボタンを押します。
- 2 ∧、 ∨、 <、 >ボタンで、
 [設定2]を選択し、OKボタンを 押します。
- 3 ∧、∨、く、>ボタンで、 設定する項目への移動、設定を 行います。 - 前のメニューに戻るには、 ボタンを押します。
- 4 終了したらEXITボタンを押し ます。



設定2の設定を次の表に示します。

メニュー			
台形補正	プロジェクターと投影面が平行でない場合に、映像の水平方向、垂直方向を調整します。 この機能により、投影された 映像の形を補正します。 映写映像の上下左右の幅を調整します。		
白新ナーフ	[自動キーストーン]は、プロジェクターの傾きによって画面 映像が台形になっている場合に、台形補正値を自動的に調整 して画面映像を長方形に補正します。		
日動キーストーン	項目		
	オン	台形補正値を自動的に調整します。	
	オフ	台形補正値を手動で調整します。	
投写位置	 この機能を使用すると、投写される映像の上下または左右が逆になります。 別売りの透明画面の裏側から映写する場合は、[リア]を選択します。 天井に製品を取り付けた場合は、[フロント天吊り]を選択します。 [投写位置]が[リア天吊り]/[フロント天吊り]であるとき、スピーカーの左右は自動的に変更されます。 		

メニュー		説明		
高高度	標高1200mよりも高い場所でプロジェクターを使用する場合は、この設定をオンにしてください。 オフのまま使用すると、プロジェクターが過熱したり、保 護機能が有効になることがあります。その場合は、プロジ ェクターの電源をオフにして、数分待ってから再度オンに してください。			
ブランク	ブラン	ブランクの背景の色を選択します。		
	アダプタープラグを差し込んだときに、プロジェクターの 電源が自動的にオンになるかを設定します。			
	項目			
自動電源	オン	AC/DCプラグをプロジェクターに接続すると自動 的にオンになります。		
	オフ AC/DCプラグをプロジェクターに接続するとスタ ンバイモードになります。			
自己診断	製品の使用中に発生する可能性がある機能の問題の自己診 断を行います。			

デバイスを接続する

さまざまな外部デバイスをプロジェクターのポートに接続できます。





HDレシーバー、DVD、 VCRプレーヤー、 外部 デバイスへの接続

HDレシーバー、DVD、VCRプレ ーヤー、外部デバイスをプロジェク ターに接続し、適切な入力モードを 選択します。

HDMI接続

HDMIケーブルでデジタル接続し て、高品質な映像とサウンドをお楽 しみいただけます。 HDMIケーブルで、プロジェクタ

ーのH戸TMI(MHD(HDMI入力端子) を、接続デバイスのHDMI出力端子 に接続します。 映像信号と音声信 号両方が伝送されます。

リモコンのINPUTボタンを押し て、[HDMI]を選択します。



HDMI-DVI接続

HDMI-DVI変換ケーブルで、プロジ ェクターのHつmi (MHD)(HDMI入 力端子)と接続デバイスのDVI出力 端子に接続します。 音声信号を伝送するには、オーディ オケーブルを使用して接続します。 リモコンのINPUTボタンを押し て、[HDMI]を選択します。



AV入力への接続

下のイラストのように添付のコンポ ジット変換を使用して、プロジェク ターのAV INと接続デバイスのコン ポジット出力端子を接続します。 リモコンのINPUTボタンを押し て、[ビデオ]を選択します。 同じ色のケーブル同士が適切に接続 されているかどうかを確認します。



<u>コンポーネント接続</u>

外部デバイスのコンポーネントポ ートをプロジェクターのRGB INIC 接続することでビデオを表示でき ます。リモコンのINPUTボタンを 押して、[コンポーネント]を選択 します。

同じ色のケーブルが適切に接続され ているかどうかを確認します。



PCへの 接続

プロジェクターはプラグアンドプレ イに対応しています。 PCは自動的 にプロジェクターを認識するので、 ドライバーをインストールする必要 はありません。

HDMI接続

HDMIケーブルで、プロジェクタ ーのHつmi (MII)(HDMI入力端子) とPCのHDMI出力端子を接続しま す。映像信号と音声信号両方が伝 送されます。

リモコンのINPUTボタンを押し て、[HDMI]を選択します。



HDMI-DVI接続

HDMI-DVI変換ケーブルで、プロジ ェクターのH口mI(HDMI入 力端子)と接続デバイスのDVI出力 端子に接続します。 音声信号を伝送するには、オーディ オケーブルを使用して接続します。 リモコンのINPUTボタンを押し て、[HDMI]を選択します。



RGB接続

パソコンのD-Sub15ビン出力端子 と、プロジェクターのRGB INを D-Sub15ビンアナログケーブルで 接続します。 音声信号を伝送するには、パソコン とプロジェクターをオーディオケー ブルで接続します。 リモコンのINPUTボタンを押し て、[RGB-PC]を選択します。





上図で示しているように、オーディ オケーブルは変換を使用せずに接続 できます。

ノートPCの接続

プロジェクターをノートPCに接 続して、さまざまな機能を使用で きます。

HDMI接続

HDMIケーブルで、プロジェクター のHコTHI MHD (HDMI入力端子)と ノートPCのHDMI出力端子に接続 します。 映像信号と音声信号両方 が伝送されます。

リモコンのINPUTボタンを押し て、[HDMI]を選択します。



下表は出力切り替えの例です。 詳 細については、お使いのコンピュー ターの取扱説明書の「外部出力」、 「外部モニターへの接続」などの項 を参照してください。

ブランド	出力の切り替え
NEC	Fn + F3
Panasonic	Fn + F3
TOSHIBA	Fn + F5
IBM	Fn + F7
Sony	Fn + F7
富士通	Fn + F10
LG	Fn + F7
SAMSUNG	Fn + F4
Macintosh	起動後コントロ ールパネルを調 整してミラーリ ングを有効化し ます。

ヘッドホンの接続

ヘッドホンでオーディオを聴くこと ができます。



携帯電話のミラーリング機能の使用

MHL/スリムポートの接続

HDMIアダプターを使用して、携帯電話をプロジェクターに接続し、携帯電 話の映像、音声をプロジェクターに出力することができます。

互換性のあるHDMI変換は、携帯電話によって異なります。

形状をよくお確かめの上、適切なMHLまたはスリムポート変換ケーブルまた はコネクタをご用意ください

(お使いのデバイスがMHL/スリムポートに対応しているかは、携帯電話の製 造元にお問い合わせください)。





- MHL/スリムポート機能が無効の場合。
- 携帯電話がスタンバイモードで完全充電されている場合。

メンテナンス

最高の状態に保てるように、プロジェクターを定期的にメンテナンスしてく ださい。

お手入れ

レンズのお手入れ

レンズの表面にほこりや汚れが付いている場合は、レンズを清掃してください。

エアスプレーか、清掃用クロスでレンズを拭いてください。

ほこりや汚れを落とすには、エアスプレーを使用するか、綿棒またはやわら かい布に少量の洗浄液をしみ込ませてレンズを軽く拭いてください。

洗浄液のスプレーをレンズに直接噴射しないでください。洗浄液がレンズ内 に入るおそれがあります。

筐体のお手入れ

筐体を清掃するときは、電源コードを抜いてください。

ほこりや汚れを落とすには、研磨剤が含まれていない、糸くずの出ない乾い た布でやさしく拭いてください。

アルコール、ベンゼン、シンナーなどの高揮発性溶剤は使用しないでください。

トラブルシューティング

以下の内容を確認してください。以下の内容にしたがって操作しても症状が 改善されない場合はLG Electronics Japanカスタマーセンターにご相談く ださい。

全般

問題	解決法
プロジェクターの電源を入	 プロジェクター起動直後にノイズが発生
れてから映像が完全に表示	することがあります。起動後しばらくす
されるまで時間がかかる。	るとノイズはなくなります。

画質

問題	解決法
水平または垂直に揺れる 線、および網目模様が瞬間 的に表示される。	 強い電気的な干渉がある場合、このような問題が発生する可能性があります。携帯電話や電動工具などの電子機器、およびその他の家電製品の電源はオフにしてください。
HDMI®接続しているとき、 表示されない、または映像 が不鮮明。	 HDMI®ケーブルの仕様を確認してください。純正または、HDMI認証されていないHDMI®ケーブルを使用すると、適切に表示されないことがあります。 すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。しっかりと接続されていないと、映像が適切に表示されないことがあります。
USBストレージデバイスで 動作しない。	 USBデバイスおよびケーブルがバージ ョン2.0以上であることを確認してくだ さい。

<u>サウンド</u>

問題	解決法
映像が表示されているの に、音声が聞こえない。	 プロジェクターの音声出力の設定が正しいか確認してください。 PCとアナログ接続をしている場合、DVI変換を使用して接続している場合、音声データは伝送されません。別途音声ケーブルを接続してください。
HDMI/USBに接続して いるとき、音声が聞こえ ない。	 ハイスピードHDMI®ケーブルを使用していることを確認してください。 USBデバイスおよびケーブルがバージョン2.0以上であることを確認してください。 通常の音楽(*mp3)ファイルのみを使用してください。

PC接続の問題

問題	解決法
パソコン接続時に映像 が表示されない。	 コンピューターとプロジェクターがしっかり と接続されていることを確認してください。 リモコンでプロジェクターの電源をオフにし て再度オンにしてください。 プロジェクターをオンにした状態でPCを再 起動してください。 解像度がPC入力用に正しく設定されている かどうかを確認してください。 HDMIケーブルを再度接続してください。
パソコンとHDMI接続 したとき、音声が聞こ えない。	 ビデオカードでHDMI音声出力がサポートされていることを確認してください (DVI形式のビデオカードでは、別の音声ケーブルを接続する必要があります)。 パソコンの音量が適切か確認してください。
コンピューターに接続 すると、表示が部分的 に欠損したり、偏った りする。	 PC入力をサポートするように解像度を設定してください(それでも解決しない場合は、コンピューターを再起動します)。

マイメディアでのムービーの再生に関する問題

問題	解決法
動画リストのファイル を視聴できない。	 USBストレージデバイスのファイルをコンピューターで読み取れるかどうかを確認してください。 ファイル拡張子がサポートされているかどうかを確認してください。
「このファイルは無 効です」 というメッ セージが表示される か、音声が聞こえる のに映像表示が正常で ない。	 コンピューターのビデオプレーヤーでファイル が正常に再生されることを確認してください (ファイルの損傷を確認します)。 解像度がサポートされているかどうかを確認し てください。 ビデオと音声のコーデックがサポートされてい ることを確認してください。 フレームレートがサポートされていることを 確認してください。
「音声がサポートされ ていません」という メッセージが表示され るか、映像表示が正 常なのに音声が正常で ない。	 コンピューターのビデオプレーヤーでファイルが正常に再生されることを確認してください(ファイルの損傷を確認します)。 音声コーデックがコンピューターによってサポートされているかを確認してください。 ビットレートまたはサンプルレートがサポートされていることを確認してください。
字幕が表示されない。	 コンピューターのビデオブレーヤーでファイルが正常に再生されることを確認してください(ファイルの損傷を確認します)。 ビデオファイルの名前が字幕ファイルの名前と同じであるかどうかを確認してください。 ビデオファイルと字幕ファイルが同じフォルダにあることを確認してください。 字幕ファイルの形式がサポートされていることを確認してください。 字幕の言語がサポートされていることを確認してください(字幕ファイルを[メモ帳]で開いて言語を確認できます)。

• 表示されている図は、実際のプロジェクターと異なる場合があります。

 保守の要求方法については、次のメニューを参照してください。
 SETTINGSボタンを押してメインメニューを開き、カスタマーサポート (赤のカラーキー)→ 製品・サービス情報

仕様

モデル	PW1500G (PW1500G-GL)/		
 解像度(ピクセル)	1280(猫) × 800(縦)		
アスペクト比	16:10(横:縦)		
パネルサイズ	11.623mm		
映写距離(ビデオサ イズ)	0.75m~3.06m(63.5cm~254.0cm)		
上向き映写の比率	100%		
リモコンの稼動範囲	6m		
消費電力	PW1500G	100W	
	PW1000G	70W	
AC-DCアダプター	PW1500G	19.0V、5.79A (アダプター入力100-240V @ 50/60Hz)	
	PW1000G	19.0V、3.42A (アダプター入力100-240V @ 50/60Hz)	
音声出力	3W + 3W		
ビデオ入力	NTSC M/PAL-B、D、G、H、I/PAL M/PAL N/ PAL 60/SECAM		
高さ	53mm(脚なし)、56.5mm(脚あり)		
幅	230.6mm		
奥行	162mm(レンズなし), 163.5mm(レンズあり)		
重量	1160g		
USBデバイス	5V、0.5A(最大)		

モデル	PW1500G (PW1500G-GL)/ PW1000G (PW1000G-GL)		
	温度		
使用環境	動作	0°C~40°C	
	保管	-20°C~60°C	
	相対湿度		
	動作	0%~80%	
	保管	0%~85%	

* 取扱説明書に記載された電源のみを使用してください。

* この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向 上の目的で事前の通知な しに変更さ れることがあります。

Wireless モジュール仕様

Wireless モジュール (LGSBW41)仕様			
Wireless LAN		Bluetooth	
動作環境	IEEE 802.11a/b/g/n	動作環境	Bluetooth
使用周 波数	2400 - 2483.5MHz 5180MHz、5190MHz、 5200MHz、5220MHz、 5230MHz、5240MHz	使用周 波数	2400 - 2483.5MHz
無線出力	802.11a: 13dBm 以下 802.11b: 15dBm 以下 802.11g: 14dBm 以下 802.11n - 2.4GHz: 16 dBm 以下 802.11n - 5GHz: 16 dBm 以下	無線出力	10dBm 以下

電波法により5 GHz帯は屋内使用に限ります。



1 Wi-Fi

この表示のある無線機器は、2.4GHz帯を使用しています。変調方式として DS-SS方式およびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40mです。

2 For Bluetooth この表示のある無線機器は、2.4GHz帯を使用しています。変調方式とし てFH-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。

<本製品の使用上の注意事項>

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほ か工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要 する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア 無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小 電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して 下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

108 仕様

解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 x 350	31.468	70.09
720 x 400	31.469	70.08
640 x 480	31.469	59.94
800 x 600	37.879	60.31
1024 x 768	48.363	60
1152 x 864	54.348	60.053
1280 x 800	49.68	60
1280 x 1024	63.981	60.020
1440 x 900	55.935	59.888
1400 x 1050	65.317	59.979
1600 x 900	60.000	60
1680 x 1050	65.290	59.954
1920 x 1080	67.5	60

サポートされるRGB-PC/HDMI(PC)モード

- プロジェクターに無効な信号が入力された場合は、画面に適切に表示されないか、[信号がありません]または[対応していないモード]というメッセージが表示されます。
- プロジェクターは、DDC1/2Bタイプをプラグアンドプレイ機能(PCモニターの自動認識)としてサポートしています。
- PCの同期信号伝送方法:セパレート信号方式。
- PCモードで最高の画質を得るには、1280 x 800の解像度を使用することをお勧めします。
| ++-+* | | L* |
|-------|-------------------------------|----|
| リハー | 1°011000000000000000000000000 | 1 |

解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
480p	31.47 31.47 31.5	60 59.94 60
576p	31.25	50
720p	45 44.96 37.5	60 59.94 50
1080i	33.75 33.72 28.125	60 59.94 50
1080p	67.5 67.432 27 26.97 33.75 33.71 56.25	60 59.939 24 23.976 30 29.97 50

最適な映像品質を得るには、1280 x 720(720p)の解像度をお勧めします。

コンポーネントポート接続情報

信号	コンポーネント
480i/576i	0
480p/576p	0
720p/1080i	0
1080p	o (50Hz/60Hzのみ)

オープンソースソフトウェア通知情報

本製品に搭載されているGPL、LGPL、MPL、およびその他のオープンソー スのライセンスのもとで開発されたソースコードを取得するには、 http://opensource.lge.comをご参照ください。

ソースコードをはじめ、該当するすべてのライセンスの内容や著作権の表 示、保障責任がないという表示をダウンロードできます。

本製品をお買い求めてから3年以内に、本製品に搭載されているソフトウェアのオープンソースコードをEメール(opensource@lge.com)にてお求めになる場合、媒体の費用や送料など、必要な最小限の費用をお支払いいただいてから、CD-ROMにてご提供いたします。

キーコード

この機能を使用できないモデルもあります。

コード (16進)	機能	ХŦ
AD	POWER 🖒	リモコンボタン
09	MUTE A	リモコンボタン
EF	INPUT 🔁	リモコンボタン
02	VOLUME +	リモコンボタン
03	VOLUME -	リモコンボタン
00	PAGE 🔨	リモコンボタン
01	PAGE 🗸	リモコンボタン
92	AUTO	リモコンボタン
84	BLANK	リモコンボタン
06	>(矢印キー/右キー)	リモコンボタン
07	< (矢印キ−/左キ−)	リモコンボタン
40	∧ (矢印キー/カーソル上)	リモコンボタン
41	✔(矢印キー/カーソル下)	リモコンボタン
44	OK 💿	リモコンボタン
5B	EXIT	リモコンボタン
28	⇒(戻る)	リモコンボタン
43	SETTINGS	リモコンボタン
45	Q.MENU	リモコンボタン
BC	STILL	リモコンボタン
79	RATIO	リモコンボタン
7C	USB	リモコンボタン
A4	KEY.S▲(台形補正)	リモコンボタン
A5	KEY.S▼(台形補正)	リモコンボタン
8E	▶	リモコンボタン
8F	₩	リモコンボタン
B0		リモコンボタン
B1		リモコンボタン

112<u>キーコード</u>

コード (16進)	機能	ΧŦ
BA	11	リモコンボタン
72	赤	リモコンボタン
71	緑	リモコンボタン
63	黄/3D	リモコンボタン
61	青/L/R(3Dモード)	リモコンボタン

PCのRS-232C(シリアル)端子とプロジェクター背面のRS-232C端子に接続します。

RS-232Cケーブルは別売です。

プロジェクターの遠隔操作にはRS-232Cケーブルが必要です(図1を参照)。



(PC)

(プロジェクター)

図1:RS-232の接続図





*ピン1とピン9は使用されません。

設定ID

設定ID番号については、「実データマッピング(16進数 → 10進数)」 (117 ページ) を参照してください。

- 1 [SETTINGS]ボタンを押して、メインメニューを開きます。
- 2 ∧、V、<、>で[設定1]に移動し、[OK]を押します。
- 3 ∧、∨、<、>で[設定ID]に移動し、[OK]を押します。
- 4 <、>ボタンで設定ID番号を選択し、[閉じる]を選択します。 調整範囲 は1~99です。
- 5 完了したら、[EXIT]を押します。

通信パラメータ

- ・ボーレート:9600bps(UART)
- データ長:8ビット
- パリティ:なし
- ストップビット:1ビット
- 通信コード:ASCIIコード
- ・ クロス(リバース)ケーブル使用

コマンドリファレンスリスト

	コマンド1	コマンド2	Data (16進)
01. 電源*	k	а	00~01
02. アスペクト比	k	С	(118ページを参照 してください。)
03. 画面ミュート	k	d	(119ページを参照 してください。)
04. 音量ミュート	k	е	00~01
05. 音量設定	k	f	00~64
06. コントラスト	k	g	00~64
07.明るさ	k	h	00~64
08. カラー	k	i	00~64
09. 色相	k	j	00~64
10. シャープネス	k	k	00~32
11. OSD選択	k		00~01
12. リモコンロック モード	k	m	00~01
13. バランス	k	t	00~64
14. 色温度	k	u	00~04
15. イコライザー	j	V	(123ページを参照 してください。)
16. +-	m	С	キーコード
17.エコモード	n	р	00~02
18. 入力選択(メイン)	х	b	(124ページを参照 してください。)
19. 3D	х	t	(125ページを参照 してください。)
20. 拡張3D	х	v	(126ページを参照 してください。)
21. 自動設定	j	u	(126ページを参照 してください。)

* 注意:メディアの再生中には、電源(ka)およびキー(mc)以外のすべてのコマンドは実行されず、NGとみなされます。

送受信プロトコル

送信

[Command1][Command2][][設定ID][][Data][Cr]

[Command1]:プロジェクターを制御する最初のコマンド。(j、k、m、x) [Command2]:プロジェクターを制御する2番目のコマンド。

[設定ID]:[設定ID]を調整して、[設定1]メニューで適切なプロジェクター ID番号を選択できます。プロジェクターの調整範囲は1~99です。[設定ID] 値に「0」を選択した場合、すべての接続されたセットが制御可能になりま す。

* [設定ID]は、メニューでは10進数(1~99)として、送受信プロトコルでは 16進数(0x00~0x63)として表示されます。

[DATA]: コマンドデータを送出します(16進数)。コマンドのステータスを 読み取るには、「FF」データを送出します。

[Cr]:キャリッジリターン-ASCIIコード「0x0D」

[]:スペース – ASCIIコード「0x20」

OKアクノリッジメント

[Command2][][設定ID][][OK][Data][x]

セットは、正常なデータを受信した場合に、この形式に基づいてACK(アク ノリッジメント)を送出します。 このとき、データがデータ読み取りモードだ った場合、現在のステータスデータを送出します。 データがデータ書き込み モードだった場合、PCコンピュータのデータを返します。 エラーアクノリッジメント

[Command2][][設定ID][][NG][Data][x]

セットは、実行できない機能や通信エラーによる異常なデータを受信した場合に、この形式に基づいてACK(アクノリッジメント)を送出します。

Data 00: 不正コード

実データマッピング(16進数 → 10進数)

• [Data]を16進数で入力するときに、次の変換表を参照してください。

00:ステップ0	32:ステップ50(設定ID50)	FE:ステップ254
01:ステップ1(設定ID1)	33:ステップ51(設定ID51)	FF:ステップ255
 0A:ステップ10(設定ID10)	… 63:ステップ99(設定ID99)	 01 00:ステップ256
 0F:ステップ15(設定ID15) 10:ステップ16(設定ID16)	 C7:ステップ199 C8:ステップ200	 27 0E:ステップ9998 27 0F:ステップ9999

*コマンドは、モデルや信号に応じて異なる動作を示す場合があります。

01. 電源(コマンド:ka)

▶ セットの電源の*オン/オフを制御します。 Transmission [k][a][][設定ID][][Data][Cr]

Data 00:電源オフ01:*電源オン

Ack [a][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

▶ プロジェクターの電源のオン/オフを表示します。 Transmission [k][a][][設定ID][][FF][Cr]

Ack [a][][設定ID][][OK][Data][x]

- * 同様に他の機能がこの形式で「FF」データを送信した場合、アクノリッジ メントのフィードバックが各機能に関するステータスを表します。
- 02. アスペクト比(コマンド:kc) (主アスペクト比)

▶ 画面の形式を調整します。(主映像形状) 画面の形状は、[Q.MENU(Q.メニュー)]または[映像]メニューの[ア スペクト比]から調整できます。 Transmission [k][c][][設定ID][][Data][Cr]

Data

01:ノーマルスクリーン(4:3) 04:ズーム 08:フル 10~1E:シネマズーム1~16

02:ワイドスクリーン(16:9) 06:プログラムによる設定 09:*オート

Ack [c][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

- * PC入力を使用して、16:9、4:3またはフル画面のアスペクト比を選択で きます。
- *HDMI/コンポーネントモード(高精細画質)で、[オート]が使用できます。

03. 画面ミュート(コマンド:kd)

▶ スクリーンミュートのオン/オフを選択します。 Transmission [k][d][][設定ID][][Data][Cr]

Data

- 00: スクリーンミュートオフ(映像オン) ビデオミュートオフ
- 01: スクリーンミュートオン(映像オフ)
- 10: ビデオミュートオン

Ack [d][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

*ビデオミュートオンの場合にのみ、プロジェクターのOSD(オンスクリーン ディスプレイ)が表示されます。 ただし、スクリーンミュートオンの場合、 プロジェクターでOSDは表示されません。

04. 音量ミュート(コマンド: k e)

▶ 音量ミュートのオン/オフを制御します。 リモコンのMUTEボタンを使用してミュートを調整することもできます。

Transmission [k][e][][設定ID][][Data][Cr]

Data

- 00: 音量ミュートオン(音量オフ)
- 01: 音量ミュートオフ(音量オン)

Ack [e][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

05. 音量設定(コマンド:kf)

音量を調整します。

リモコンのVOLUME +、-ボタンを使用して音量を調整することも できます。

Transmission [k][f][][設定ID][][Data][Cr]

Data 最小:00~最大:64

Ack [f][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

06. コントラスト(コマンド:kg)

▶ 画面のコントラストを調整します。 [映像]メニューでコントラストを調整することもできます。 Transmission [k][g][][設定|D][][Data][Cr]

Data 最小:00~最大:64

Ack [g][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

07. 明るさ(コマンド:kh)

▶ 画面の明るさを調整します。 [映像]メニューで明るさを調整することもできます。 Transmission [k][h][][設定ID][][Data][Cr]

Data 最小: 00~最大: 64

Ack [h][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

08. カラー(コマンド: ki)

▶ 画面のカラーを調整します。 [映像]メニューでカラーを調整することもできます。 Transmission [k][i][][設定ID][][Data][Cr]

Data 最小:00~最大:64

Ack [i][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

09. 色相(コマンド:kj)

▶ 画面の色合いを調整します。 [映像]メニューで色合いを調整することもできます。 Transmission [k][j][][設定ID][][Data][Cr]

Data赤: 00~緑:64

Ack [j][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

10. シャープネス(コマンド:kk)

▶ 画面のシャープネスを調整します。 [映像]メニューでシャープネスを調整することもできます。 Transmission [k][k][][設定ID][][Data][Cr]

Data 最小: 00~最大: 32

Ack [k][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

11. OSD選択(コマンド:kl)

▶ リモート制御時のOSD(オンスクリーンディスプレイ)のオン/オフ を選択します。

Transmission [k][l][][設定ID][][Data][Cr]

 Data 00 : OSDオフ
 01 : OSDオン

Ack [I][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

12. リモコンロックモード(コマンド:km)

プロジェクターのジョイスティックボタンとリモコンをロックします。

Transmission [k][m][][設定ID][][Data][Cr]

Data 00: ロックオフ 01: ロックオン

Ack [m][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

- * リモコンを使用しない場合は、このモードを使用します。 主電源をオフにしてからオンにした場合(電源コードを抜いてから20~30 秒後に再度コードを入れた場合)、外部制御ロックが解放されます。
- * スタンバイモードで(オフタイマーまたは「ka」、「mc」コマンドでDC オフ)キーロックがオンの場合、IRキーとローカルキーでは電源をオンにで きません。

13. バランス(コマンド:kt)

▶ バランスを調整します。 [オーディオ]メニューでバランスを調整することもできます。 Transmission [k][t][][設定ID][][Data][Cr]

Data 最小:00~最大:64

Ack [t][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

14. 色温度(コマンド: ku)

▶ 色温度の値を調整します。

Transmission [k][u][][設定ID][][Data][Cr]

Data

- 00:中間
- 02:暖色

01:寒色

*Data 03は使用しません。

Ack [u][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

15. イコライザー(コマンド:jv)

▶ セットのEQを調整します。

Transmission [j][v][][設定ID][][Data][Cr]



7	6	5	周波数	4	3	2	1	0	ステップ
0	0	0	1番目の帯域	0	0	0	0	0	0(10進数)
0	0	1	2番目の帯域	0	0	0	0	1	1(10進数)
0	1	0	3番目の帯域						
0	1	1	4番目の帯域	1	0	0	1	1	19(10進数)
1	0	0	5番目の帯域	1	0	1	0	0	21(10進数)

Ack [v][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

* モデルに応じて異なり、サウンドモードでEQが調整可能な値である場合に 調整できます。

16. キー(コマンド:mc)

▶ IRリモートキーコードを送信します。 Transmission [m][c][][設定ID][][Data][Cr]

Data: 「キーコード」を確認します。

Ack [c][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

17. エコモード(コマンド:np)

▶ エコモードを設定します。

Transmission [n][p][][設定ID][][Data][Cr]

Data

00:オフ 01:低

02:高

Ack [p][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

18. 入力選択(コマンド: x b) (主映像入力)

▶ 主映像の入力ソースを選択します。 Transmission [x][b][][設定ID][][Data][Cr]

Data

20 : AV

60 : RGB

40:コンポーネント 90:HDMI

Ack [b][][設定ID][][OK/NG][Data][x]

* この機能はモデルや信号に応じて異なります。

19.3D(コマンド:xt)

▶ プロジェクターの3Dモードを変更します。 Transmission [x][t][](設定ID][][Data 00][][Data 01][][Data 02]

構造
00:3Dオン
01:3Dオフ
02:3Dから2D
00:トップアンドボトム
01:サイドバイサイド
03:フレームシーケンシャル
00:右から左
01:左から右

[Data 02]はモデルや信号に応じて異なります。

* 放送/ビデオ信号に応じて、一部の3Dパターンオプション([Data 01])が使 用できない場合があります。

[Data 00]	[Data 01]	[Data 02]
00	0	0
01	X	Х
02	X	Х

X:使用不可

Ack [t][][設定ID][][OK][Data00][Data01][Data02][x]

[t][][設定ID][][NG][Data00][x]

20. 拡張3D(コマンド: x v)

▶ プロジェクターの3Dオプションを変更します。 Transmission [x][v][][設定ID][][Data 00][][Cr]

 Data 00:右から左
 01:左から右

Ack [v][][設定ID][][OK/NG][Data 00][x]

21. 自動設定(コマンド: ju)

▶ 映像位置を調整し、画像のブレを自動的に最小限に抑えます。
 RGB(PC)モードでのみ機能します。
 Transmission [j][u][][設定ID][][Data][Cr]

Data 01:自動設定の実行

Ack [u][][設定ID][][OK/NG][Data][x]



プロジェクターのモデルおよびシリアル番号は、プロジ ェクターの背面または側面に記載されています。 保守 が必要になった場合に備えて、下記にご記入ください。

モデル

シリアル番号 _____